2012年11月20日第499号(隔月20日発行)

PPの友

The Asia-no Tomo

10-11
AUTYMN-NOVEMBER

2012

故 田井重治さんを偲ぶ会 開催される





「大大の恒例行事とりない。 の恒例行事とりなった「ABK で、すった「ABK 秋祭り」が、今年もれる。 が、コン行と達といいた。 のはまるのはに振理でるといいた。 を対していいた。 を対した。 を対した。 を対した。 を対した。 を対した。 を対した。 を対した。 を対しては、 を対した。 を対しては、 を対していいた。 を対していいいのに、 を対していいいいのに、 を対していいいのに、 を対していいいのに、 を対していいのに、 を対していいのに、 を対していいのに、 を対していいのに、 を対していいのに、 を対していいいのいいのに、 を対していいのに、 を対し、 をがし、 をが



ABK 新校舎建設 進捗状況

10 月中旬の様子です。







月刊アジアの女

2012年10-11月号第499号

目 次

巻 頭

故 田井重治さんを偲ぶ会 開催される

くごあいさつ>

是松恭治さん、グゥエンドクホエさん スポン・チャユッサハキットさん、千代田博明さん 松平吉世さん、劉彩品さん

<特別寄稿>「田井さんのこと」 工藤正司

Report

18 中国青年交流「第2回 5大学合同会議」開催

22 Data

私費外国人生活実態調査より

私の意見私の体験

29 「村を変えた僕たちの日本留学」 イット ウィサル (カンボジア)

知友会通信

32 奨学金情報、イベント情報

MEMBERS

「 ご入会、ご寄付のご報告 (2012年8月、9月)

35 募金途中報告

ABK 同窓生募金 (2012年9月30日現在)

<表紙> 2012年 ABK 秋祭りに出店した台湾留学生チーム

Photo by MIZUSU



(財) アジア学生文化協会の前理事長で、今年2月16日 に逝去した田井重治さん(享年89歳)を偲ぶ会が10月14 日(日) 東京・千代田区の如水会館で開催されました。

田井さんは、1922年(大正11年)台北市生まれ。鹿児島で旧制中学を修了後、上京、1944年明治大学経営学部を卒業。1943年、学生時代から穂積五一先生の主宰する至軒寮(戦後「新星学寮」とし改称。(財)アジア学生文化協会設立の母体となる)に入寮、爾来一貫して穂積先生



と行動を共にする。1957 年、(財) アジア学生文化協会の創立に加わり、1981 年、 穂積初代理事長逝去後、専務理事として大河内一男第二代理事長を支え、1985 年~ 1995 年、第 3 代理事長を務められました。

至軒寮、新星学寮、アジア文化会館(ABK)を通じ、数知れぬ日本人学生、留学生が親身のお世話をいただきました。特に新星学寮在寮中、満里夫人、良知さん、亮吉さんともども、ご一家との家族同様の交流は、当時の寮生の胸に忘れ難い思い出を刻んでいます。

偲ぶ会には、寮友の皆様をはじめとした田井さんにゆかりのある方々が、およそ 150名参加され、田井さんの思い出を語りあいました。

ここに、この会の発起人とご来賓のご挨拶を掲載させていただきます。

ごあいさつ

是松恭治さん

発起人(新星学寮寮友、元新日鐡住金釜石 製鉄所長)



大変僭越でございますが、発起人を代表 しまして一言御挨拶申し上げます。

私は是松恭治と申します。昭和31年から33年の間、新星学寮の寮生としてごやっかいになった者でございます。ずっと鉄鋼業一筋で、それから労使関係一筋でやってきまして、最後は中央労働委員会の委員をしましていろんな仲裁とか和解のことを生懸命やりました。その後はやはり新星学寮でいろいろお世話になったことを思い出しまして、六文会(寮友の勉強会。五一先生と文子夫人の名前から命名。)ですね、今は井上さんや寺門さんたちが中心にやっておるんですが、その勉強会に平成12年

から参加いたしまして、田井さんに、おまえは鉄の仕事をしてきたんだから、少しそういう仕事のことを話してくれないかということもございまして、3回くらい講師をしたこともあります。しかし、最近ちょっと脚を悪くしさぼりぎみでありますけど、まあそういう者でございます。

で、今日は本当にたくさんの方々、153 人ということでございますが、非常に田井 さんの御人徳があればこそこれだけの方に お集まりいただいたというふうに思うわけ でございます。それで、田井さんのことを お話しますといっても皆様方の方が詳しい と思いますが、実は来年2月の田井さんの 1周忌頃に文集を出すことになり、今寺門 さんを中心に原稿集めをしておられます が、私は先週それに寄稿いたしました。そ こでその一番最初のところと一番最後のと ころをここで読み上げさせていただいて、 私の田井さんについて思うところをお聞き いただきたいと思います。

「本年2月田井さんがついに永眠された。 享年89歳、穂積五一先生没後31年であっ た。お通夜にお参りし、深い悲しみの中に も尽くすべきことを全てつくされて、どこ かほっとした安らぎと品の高さを保たれて いた満里夫人。それから幼い頃かわいらし く元気で仲良く遊んでいた良知ちゃんと亮 吉ちゃん兄弟が共に立派な紳士に成育され た姿を刮目して見ました。その外に寮生活 を共にした二人のおじさん、永田隆彦さん (満里さんの実兄、人格高潔な陶芸家)と







田井直民さん(田井さんの実弟、快活で皆に好かれた歯科医の学生)が当時寮生でおられました。本当に素晴らしい御家族に恵まれまして田井さんはその面では大変お幸せな人生を送られたことだと感慨一入のものがございました。」

なお、穂積五一先生遺稿集の内観録には、 『往路帰路』と題する先生が田井さんの幼い息子兄弟をたたえた珠玉のエッセイがご ざいます。そこのところをちょっと読んで 見ます。「往路、帰路、わずかなおみやげ を喜んでくれる良き友であること。それぞ れ清潔で温かい糧となって私を育ててくれ る。」、こういうふうに最後に書いてござい ます。ぜひ再度お読みいただいたらよいか と思います。

次に田井さんでございます。「田井重治さん、田井さんはいつも穏やかで温厚、寡黙だが、お話はユーモアと温かさがあって面白かった。また抱擁量が広く、人の話をよく聞いてくれるので、誰からも慕われた。人に知られないようにしてする良い行いを仏教の言葉で陰徳を積むというそうで

すが、田井さんは生涯、陰徳を積まれた人だったと思います。そういう人の周りには自然に人が集まった。一方、彼は薩摩隼人特有の胆力、気力、勇猛さを若い時から練り、内に秘めておられた。空手道を修業して、都内大学では並ぶ者がないと誰かに聞いたことがありますが、そんなそぶりは寸分も表に出さなかった。一旦緩急時用にしまってあったのであろう。|

それから次は先生と田井さんの結びつき でございますが、これも長々と述べますと 時間がとても足りませんので、文集に書い ておりますからそこをお読み下さい。また、 『アジア文化会館と穂積五一先生』の本に 非常に詳しく書いてございます。

では一番後半部分をちょっと申し上げます。「結び。一灯やがて万灯となるごとく。私は2月に田井さんとお別れしてから、穂積先生の2冊の内観録と外観録の再精読に取り組んだ。ご高承の通り、前著は先生没後、三回忌に刊行されたが、後書は大幅に遅れて2007年(平成19年)に、先生没後26年に発刊された。その本の刊行の言葉の







中で田井さんは『やっと伝記らしい本書を 出版することが出来ました。本書が土台と なって、より良い著書の出版が続き、穂積 先生の人物像とともにその願いとしたこと が、まさに一灯やがて万灯となるごとく、 日本内外の未知の方々に伝播するよう願 がって止みません。』と、長い歳月をかけ てともにこの大労作を完成したスタッフー 同を代表して、その大きな安堵の気持ちを 正直に表現しておられます。

ちなみにこの本、これは実際の文章を書いた人のお名前をあげてみますと、工藤正司さん、田井重治さん、小木曽友さん、田中宏さん、植田泰史さん、こういう方が実際に筆を握って素晴らしい本を作っておられます。これを田口英治さんがまとめをやっておる。それからいろんな方が加わっておりますが、私はこの2冊精読へのトライをいたしまして、3月から始めて、大雨続きの梅雨期を過ぎ、異常猛暑に耐えて9月下旬に読了しました。計7か月かけ読み直して、本当に良かったと心から思っております。

私も78歳になり、身体のあちこちに積年

のつけがまわって支障が出てきた昨今でご ざいます。しかしこの年になって初めて知っ たことや、記憶違いの修正ができたり、非 常に得るところが大きかった。自分の若い 時代、自分の国の歴史、伝統、文化等の教 育が正しく行われてこなかった。その被害 をなんとか取り返すべく、幸い、20世紀末 ごろから良書が次々と自由に読めるような 非常にいい時代になりまして、歴史なども あまり変更せず、事実を事実として伝える という、まあこういうことで私は勉強をや り直している最中なのです。事実を正しく 継承してくれる人々の努力には心から敬意 を表するものです。その意味でも本書を作 成したスタッフの皆様に厚く御礼申し上げ ます。このスタッフの代表者であられる、 今は亡き田井重治さんの御冥福をお祈りし て筆を置きます。」と。ちょっと長くなりま したが、こういうことを書きました。その 真ん中の部分は文集になった時にお読みい ただければありがたいと思います。

そういうことで今日は本当にたくさんの 先輩、後輩、友人等々いろんな方が来てい









ますので、和気あいあいと故人を偲びましていい会にみなさんで盛り上げていただきたいと、いうふうにお願いするものでございます。どうも御静聴ありがとうございました。

ごあいさつ

グゥエン ドク ホエさん 発起人 (新星学寮寮友、ベトナム・ドンズー 日本語学校創設者・校長)

みなさんこんにちは。ベトナムのホエと 申します。

今日は、大勢の先輩の方々とお会いでき、 初めてこんなに揃ってお会いできることを 大変嬉しく思っております。また、本日私 がこの偲ぶ会の発起人の一人にならせてい ただきましたことは大変光栄と思っており ます。実は私が今日有るのは穂積先生のお かげです。それから次に感謝すべき人は田 井さんです。私の中で穂積先生と田井さん のイメージはいつもくっついています。私



が新星学寮に入ったのは 1964 年です。入った時は、私は田井さんのことをあまり知りませんでした。先生の秘書で、いつも先生と一緒に出かけて忙しそうでした。田井さんは毎日先生のかわりに、あちこち足を運んで先生に頼まれることをやっているらしいことしか知らなかったのです。田井さんの奥さんで、新星学寮で一緒に生活してる満里子さんとはだんだん親しくなりました。満里子さんは私のお姉さん。または、おばさん。お母さんの妹のような存在でした。







私は料理はしたことがなかったので、いつも満里子さんに丁寧に教えていただいたんです。その後満里子さんのおかげで、時々田井さんの部屋にお誘いいただき田井さんと一緒に話をしました。その時には必ず田井さんの好物の茹でたピーナッツが出されて、いつも一緒に味わいました。その茹でピーナッは、最近では私の癖の一つになっています。田井さんのように、私のところにはいつも茹でたピーナッツが置いてあります。そして、食べるたびに田井さんのこと、満里子さんのことを思い出しています。

それから田井さんともだんだん親しくなって、田井さんと満里子さんと智ちゃんと売ちゃんと一緒に山中湖へキャンプに行き、焼き肉を作って食べたりもしました。田井さんは私のお兄さんでもあり、私の先生のような存在でもありました。田井さんはいつも穏やかな方で、じーっと人の話を聞いて、ゆっくり優しい言葉で話してくれる人でした。そういう田井さんを嫌いな人はいないと思います。誰でも、一度田井さんに会ったら、信頼して、すぐ友達になる

んです。私はベトナムの学生ですが、他の 国の方も含め私たち留学生は、みんな田井 さんのことを大変尊敬してます。私は1967 年に新星学寮から独立して「東遊学舎」を 作りました。その時は、穂積先生は大変関 心を持って時々いらっしゃいましたが、田 井さんは、毎週訪ねてきてくれました。私は、 大変感激したんですね。新星学寮の多くの 友達にも支援していただきました。中畠さ ん、清水さん、高野さん、……、色々な方々 がいますが、しかし親しみと先生の代わり の存在はやっぱり田井さんです。田井さん は先生の励ましの言葉も運んできてくれま した。だからなおさら感激してしまいまし た。実はその当時、ベトナム反戦運動が盛 んでしたが、私が少ししか関わっていなかっ たため疑問に感じていた方もたくさんいた と思います。ちょうど反戦運動が高まった のに、私だけちょっと外れたみたいでいま した。「東遊学舎」を一生懸命やっていまし たから。だから私はベトナムの仲間から忘 れられ、捨てられた気持ちになっていたん です。しかし田井さんの存在で、私は元気







が出て「東遊学舎」を続けることができま した。

それから田井さんは私のことを特別にかわいがってくださり、お世話をしてくださいました。大学を出てから実習が必要になると、実習先のこと、それから保証人が必要になると田井さんが紹介してくださいました。だからそういう意味でも田井さんはいつも私の日本人の先生であり、日本人の友達の中で一番の人であったということが私の頭の中にいつもはっきり浮かんでいます。

それから1974年に私はベトナムに帰りましたが、ベトナム解放後、日本人として一番最初にベトナムに来て私の状況を摑んでくれたのは田井さんでした。田井さんは脚が悪いです。しかし私のことだったらなんでもやってくれるんです。田井さんは寮友の国会議員の杉浦さん、山本さん、それにあちこちの新星学寮の先輩、友人達に紹介してくださいました。そして、みなさんが私の力になってくださったことが今、私が今日ここに立って、今日までやってこれた

と思っています。どれをとっても田井さん のお陰です。だから田井さんが亡くなった 時、葬式に参加できなかったことで私は毎 日苦しんでいます。田井さんは私だけじゃ なくて留学生、ベトナム留学生のことを全 部、たくさん支援してくださいました。私 だけじゃない、ベトナム留学生にとっては 大事な恩人です。ベトナムの学生をたくさ ん助けて下さった。しかし田井さんが亡く なった時、私は葬儀に参加できなかった。 私の学生も参加しなかったことは大変申し 訳なく思っています。私は毎日毎日思い出 して、苦しんでいます。田井さんが亡く なったことは私にとっては大変大きな損失 です。現在、私の事務所に何人かの日本人 の写真を飾ってあります。そしてお客さん が来た時いつも聞かれます。「これは誰です か?」、「あなたとはどういう関係があるん ですか?」、「どうして写真を飾っています か | と聞かれます。 そうすると、やっぱり 「私 の恩人、日本で生活していた間の恩人、そ れから私の人生の恩人です」と。飾ってあ る写真にはもちろん穂積先生が、今回は田







井さんの写真も飾ろうと思っています。そ れくらい私は田井さんのことを尊敬してい て、絶対に忘れられない存在です。

今日は、私の下手くそな日本語ですが、 私が思った通りに話しました。失礼なこと があるかもしれませんが、どうぞお許し下 さい。今日、私は、発起人の一人としてみ なさんに大勢集まっていただきましたこと、 お礼申し上げます。



スポン チャユッサハキットさん 元 ABK 在館生、元 TPA 会長、泰日工業 大学理事長

私はタイ国のスポン・チャユッサハキッ です。

私は文部省の奨学金をいただき 1961 年 から1968年まで東京大学へ留学しました。 1966年に同大学の修士課程に進学する時に アジア文化会館 (ABK) に入館し、それ以 来田井先生にお世話になってまいりました。



田井先生は、私たち日本留学生・研修生 の父である穂積五一先生の文字どおり陰ひ なたとなり、穂積先生が私たちの心をつか んだ理念を胸に行われてきた事業を長きに わたって支えてこられました。タイに関し ては、私たちタイ人日本留学生・研修生の 夢でもあった TPA プロジェクトの実現と、 その後の泰日工業大学開学へと続く発展に、 多大な貢献をされました。

TPA が設立される 2 年前の 1971 年 5 月 には、その設立推進のために穂積先生が初







めてタイにいらっしゃいましたが、その際 にも田井先生は随行されて穂積先生を支え、 身近にお世話をされるとともに、私たちの 声にも真摯にお耳を傾けいただきました。

このご訪タイによって TPA プロジェクトは大きく前進し、1973 年に TPA・泰日経済技術振興協会は設立の運びとなり、1975 年9月には私たちのシンボルとなる建物がスクンビットに完成しました。

その落成式にも田井先生は穂積先生に随 行して来タイされ、関係者を前に温かくお 祝いいただきました。

いつもその大らかなお人柄が現れた温か みのある笑みを湛えられていた田井先生は、 私たちタイ人の自由な発想をそのまま受け 入れる懐の大きさを併せ持たれ、田井先生 を慕う多くのタイ人関係者の相談にも親身 にお乗りいただきました。加えて、多くの 関係者の厚い信頼を得られるとともに、ア ジア学生文化協会の理事長等の要職も長く 務められ、ABK の発展にも多大な貢献をさ れました。

偶然にも田井先生のお名前は「タイー国

と同じであり、先生はアルファベットの表記を、TAIではなく THAILAND と同じ THAI と表記されていました。その点からも多くのタイ人関係者が先生に親近感を持ち、先生ご自身もそれを種に軽妙な冗談を口にされていたのが昨日のことのように偲ばれます。

田井重治先生、長年にわたり親身のご厚情とご支援をいただき、誠にありがとうご ざいました。

ごあいさつ

千代田博明さん

発起人(新星学寮寮友、元財団法人アジア 学生文化協会職員、元財団法人海外技術者 研修協会常務理事・事務局長、弁護士)

井上駿さんから発起人になってくれというお電話をいただきまして、軽い気持ちでお引き受けしましたが、ふたを開けてみると、発起人の中の一番の年寄りになっていました。今日御列席の丸谷金保先生とか富









永昭太郎さん、濱田敬郎さんなどたくさん の先輩がいらっしゃるのに、諸先輩をさし 措いて最年長発起人になってしまったこと をお許しいただきたいと存じます。

私は昭和29年4月に新星学寮に入寮しました。その翌年だったと思いますが、ある日、寮の台所に見かけない若い娘さんがおられました。ご承知のとおり新星学寮では寮生が共同炊事をします。娘さんはまさにはき溜めに鶴という感じでした。どなただろうと聞きましたら、そのころやはり寮

の主のような存在であった永田隆彦さんの 妹さんで、修学旅行か何かのついでにお兄 さんのところへ訪ねてこられたということ でした。後になって分かったことは多分田 井さんとのお見合いのためだったようで す。間もなくして田井さんが結婚される、 お相手はあのときの永田さんの妹さんとい うことが発表され、なるほどと思った次第 です。

披露宴は東京大学本郷の地下食堂を借り 切って行われました。その手配は、当時東 大生で寮長であった林均さんがしてくれま した。

そのころ田井さんは石川島播磨重工業にお勤めでした。おそらく誠に成績の悪い社員だっただろうと思います。それというのも、私たち寮生が連日連夜深夜にいたるまで田井さんを引っ張り出して議論の相手をしていただいていたので、遅刻の常習者。年休はとっくに使い果たしてしまうのです。披露宴には、確か会社の勤労部長さんが主賓としておいでになっていました。私は挨拶の中で田井さんの遅刻や欠勤は大目









に見ていただきたいという厚かましいお願 いをしたことを覚えています。

昔の新星学寮は、覚えていらっしゃる方 も少なくなってしまいましたが、風が吹く と揺れるような古い建物でした。田井さん ご夫妻はそういう寮の一室で新婚生活を始 められました。新婚生活をお始めになって も私たち寮生は一向にお構いなしに田井さ んを引っ張り出しては議論の相手をしても らっていました。だからプライバシーもな にもあったもんじゃない。そういう新婚生 活をさせてしまった。まことに申し訳ない。 よくまあ逃げ出さないで今日までお付き合 いいただいている。田井さんには申し訳な いことでしたが、もっと申し訳ないのは奥 様の満里子さんに対してです。よくもまあ 逃げ出しもしないで今日までお付き合いい ただき、誠に感謝にたえません。

そういうわけで、田井さんのための献杯 ですが、私としては、満里子さんに対する 感謝の気持ちもこめて献杯の音頭をとらせ ていただきたいと存じます。

献杯。



松平吉世さん 発起人 (新星学寮寮友、元 ABK 在館生、松 平整形外科病院院長)



ちょっと感無量になって話が出て参りませんが、…。ここにいらっしゃるみなさんも田井さんとは言うまでもなく、御兄弟以上に家庭的にも先輩後輩ないしは人間的にも非常に心厚く最後までお付き合いなさったのだと思います。私もその中の一人でご









ざいます。まあ喋り出すときりがないよう な気がしますので、時間の都合もあります し、また、喋り出すと愚痴になるような気 がします。

私の80年あまりの人生を今考えさせら れるというよりも、最近というか数か月前 に、東大政整形外科の同窓会に私なりの エッセイを綴ったことが有ります。その中 に自然に出てきた二つの文字が、「知足」、 「足るを知る」ということが、これほど今 年になって私の胸をですね、打って、地球 上の全人類がですね、その足るを知ればこ んな殺し合いをしながら戦争をやるはずが ないのにどうしてだろうか、ということを 考えているうちに、私たち一人一人が本当 に平和を、この誰しもがですね、お祈りし 願わない人は一人もいないだろうと思いま すけれど、それがどうしてこのようなます ます全人類がこういう形でこの地球上に存 在していなくちゃいけないのかということ が、ますます私の脳裏に刺さってまいりま した。

こういう話を本当にこよなく若い時から

させていただいた、ないしは胸襟を開いて 本当にもう兄弟以上と申しますか、穂積 五一先生から田井さんにかけての。これも やっぱり、私たち人間にとっては避けて通 れない死だろうと思います。私もいずれか はその死を本当に自然の形で、もういつま でもこの平和を祈りつつ、最後を締めたい と願っておりますが、どうでしょうか。

さっきから申し上げてますように、愚生 と申しましょうか愚生、祈想、これは私が 勝手にやってきた愚かな人生、愚かに生き る私にとって、祈る、祈る世界。これはあ くまでもほんとにそういう気持ちで田井さ んを偲びながら私もそのあとを追ってみた いものだと今、本当に心から祈って止みま せん。

ありがとうございました。



劉彩品さん

発起人(新星学寮寮友、元中国科学院 紫金 山天文台教授)









劉彩品です。

田井さんに初めてお会いしたのは私が 二十歳の時でした。それから50数年、田井 さんが亡くなられ、私も日本で後期高齢者 と言われる年令になりました。

先ほど、ベトナム、タイから来られたグェンさんとスボンさんは、田井さんがみんなの話をよく聞いてくれたと言うお話をされました。田井さんが亡くなられた直後、アメリカにいる私の息子も、『田井さんとお話したことは多くありませんが、気楽に、リ

ラックスさせてくれたことを覚えています』と田井さんの思い出を書いてきました。田井さんは老少に限らず、いつも穏やかに、人の話を聴いていたようです。私も思い返してみますと、いつでも真剣に話をきいてくださり、必要な時はいつでも親身になって手を差し伸べてくださった田井さんがいました。

1989 年天安門事件があった時、私は中国にいました。憲法に則って当時の首相李鵬のリコールを全国人民代表として提案をしたところ、色々な問題が起こり、田井さんはとても心配してくださいました。翌年日本へきた私を連れて、田井さんは岡崎さんと一緒に撮ったを真はその後『アジアの友』の表紙に載りました。中国にいる私の身の安全を案じて、日中友好にとっての重要人物である岡崎さんとの関係を写真でアッピールするのだとっておられました。グエンさんとスボンさんも、田井さんはいつも自分たちが必要としていること、自分たちの立場に立って様々なことを支援してくださったというお









話をされました。田井さんの生き方はいつでも、穂積先生が望んでおられたアジアとの信頼関係を構築するものだったように思います。

穂積先生は、『アジア学生文化協会、研修 協会の設立目的は、アジア・アフリカ・ラ テンアメリカ諸民族の、"独立と繁栄"に役 立てるため』と言っておられました。日本 人の意識(脱亜、アジア人蔑視)変革、ア ジアを知るため、アジアに学ぶためにと、 会館と新星学寮で、留学生と日本人学生が 共同生活、共同運営をしてきました。先生 が亡くなられた知らせを中国で聞いて、そ のあと、日本から戻った人たちと「穂積精 神とは一を議論したことがありました。「日 本という地で、アジアの人たちの目線に立 ち、立場を大切にする、そして、アジアの ために生きようと強調したことしだ、とい う話になりました。晩年の穂積先生のこと を思い返しますと、容易なことではありま せんが、田井さんは身をもって穂積精神を 貫きました。

穂積先生は「脱亜の戒め」を強調し、田

井さんは「入亜」しようとしました。田井さんはよく『タイ人の田井です』と自己紹介されることがありました。聞いた人たちは笑いました、心地よい笑いでした。「日本の食べ物より台湾の食べ物が好きだ」と言われることもしばしばのことでした。心臓の手術をされた後、お見舞いに台湾の「おこわ」をもって伺ったとき、『大好物、食べたい』と満里子さんにねだり、一椀食べてから、お二人は『もうちょっと』、『大丈夫?』と問答をしながら、脂っこい「おこわ」を一人で二人分食べてしまいました。そのような田井さんが大好きでした。

田井さんとのお付き合いは50年を遥かに超えますが、話し上手な田井さんのお話は聞いていて飽きることがありませんでした。なかでも、穂積先生を偲ぶ会の後、田井さんのお家で先生の逸話を聞かせていただきながら、終電の時間がすぎ明け方まで話し込んだことは忘れ難い思い出になりました。

田井さん、本当にありがとうございました。

特別寄稿

田井さんのこと

工藤正司

発起人(新星学寮寮友、前財団法人アジア学生文化協会常務理事)

私たちが入寮した昭和39(1964)年4月には、田井さんのご家族が寮におられた。田井さんの面白い話(その中には、穂積先生のことやお兄さん・温さんのこともあった。)を聞き逃してなるものかと、毎晩ABKから帰った田井さんの部屋に、多勢の寮生が押しかけていた。当時二人の息子さん・知ちゃんと亮ちゃんは、小学生と小学生に上がる頃だったように思うが、8時になると隣りの部屋に寝かしつけられていた。それがどんなに大変なことか全然思い及ばない寮生たちだった。

田井さんの奥さんがいれてくださるお茶を堪能して、腰を上げる頃には、決まって新手の寮生数人が田井さんの部屋に入ってきた。それでまた、どんな話が出るか、聞きのがしてなるものかと、せっかく上がった腰も逆戻りしてしまう始末だった。こうして、毎晩12時前後まで、寮生は田井さんの部屋にへたり込んでいた。

「満里子さん」が、「田井さんの奥さん」と呼ばれるようになるのもその頃で、私たちの仲間の一人が、「田井さんの奥さんを、個人名で『満里子さん』と呼んでいるのはよくない。『田井さんの奥さん』と呼ぶことにしよう。」と寮会で提起し、皆渋々承知して寮会決議にされたからだった。それでも、何年かの間、親元から送金などが届くと、預かっていて下さる田井さんの奥さんが、その旨黒板に書き、「満里子」とサインして下さったのを見て、溜飲を下げた寮生も少なくなかったろう。

それから何年かして、田井さんのご家族が寮を出られることになった。(1968年3月)そのことがあって初めて田井さんのご家族が寮におられることが、どんなにか大変な事で、ストレスのたまることであるかに気づかされた寮生もいた。しかし、田井さんと寮は切っても切れないものと思い込んでいた寮生は、何とも奇異な感をぬぐえなかった。こう記す筆者も後者に属していたのだが。

大学を出て ABK に勤めることになった筆者は、田井さんのそばにいる期間が長かったので、田井さんに話しかけられることも多かった。いま鮮明に思い出す一つ、二つを記してみたい。 その一つは「工藤君、オレたちが悪いこともしないで過ごしているのは、人間が立派だか らじゃないんだよ。金が無いだけなんだよ。」と言われたことで、その時は、どう反応したか 覚えていないが、「田井さんほどの人がそんなことを言うのか」と、多少反発もしたように思う。 しかし、時が経つにつれて、至言だと思う。全く我を省みれば、悪いことをする程の金もな いので、悪いことをしないだけで、何がしかの金を握れば、立ち所に悪事に走る自分でしか ないのである。

田井さんの言葉には、ずばり真実を突くものがあった。こいうのもあった。田井さんが結婚したてのことらしいが、「結婚すれば他の女性には目もくれなくなるのだと思っていたが、ちがうんだよね。女性が通り過ぎると、結婚してても、ついその人を見ちゃうんだよね。」と。田井さんの言葉として感心して持ち出す例が、田井さんを語っているようで、どうも己を

自状しているみたいでいやになってきたので、ここらで止めておこう。

だが、もう一つ、これだけは言っておかなければならないだろう。つまり、1996年3月、寮の管理運営がナポちゃん(穂積一成君)から ABK に引き渡される時、ABK は担当者を出さなければならなかった。結果的に筆者が当たることになったのだが、その時、筆者が考えたことは、自分を含め先輩たちは寮への思い入れが深いので、若手を選んでも、「寮はこうあるべきだ。どうのこうの」とイチャモンを付けるに決まっている。それでは担当にされた若手はどうしたらよいのか迷って、かわいそうだ、それなら、先輩がやったらどうか。しかし、小木曽さんは、田井さんの後釜として寮で数年を過ごしたことがあったが、寮をやるのは自分には無理と宣言していた。それで、いっそのこと、筆者がやってしまおうとなったのである。

そう決意してみたものの不安がなかったわけではなかったし、特に ABK が委任する形に

すれば、ABK 以外の先輩でも よいのではないかとの思いも あって、理事長を退いいてはい たが、経験豊かな田井さんに本 当のところどう思うか聞いて みた。そうしたら、田井さんが おっしゃるには、「それで良い と思う。ただ、工藤君がやると、 助けは少ないね。」であった。(寮 の担当は、それでもやらねばと 思って始めたことである。)

(おわり)



「故 田井重治さんを偲ぶ会」での筆者(右)

中日青年交流 第2回 5大学合同フォーラム開催

上海交通、浙江各大学)中日青年 交流センター連絡会議年次総会が、2012 年10月26日、27日、中国・杭州の浙江 大学で開かれました。これは、香港の実 業家・曹其鏞(Ronald Chao)氏(Vice-Chairman, Novel Enterprises Ltd, 東大工 学部卆、元 ABK 在館生)から「中日青 年交流センター」(中日の学生が共同生活 をして友好を深めるための会館)の寄付



浙江大学での会議

を受けた上記5大学の連絡会議ですが、曹氏の呼びかけに応じて、「日中青年交流センター」の建設計画を進めている東京大学、早稲田大学、京都大学の代表が参加しました。また、この事業を側面から支援するため日本側に設けられたた「日中青年交流事業支援協議会」(仮称)を代表して渡辺喜宏氏(国際通貨研究所専務理事)、および、曹氏の50年来の友人であり同協議会の一員でもある ABK の小木曽理事長も出席しました。また、ABK 同窓会(中国)の賈蕙萱先生(北京大学日本学教授)も曹氏からの特別招待を受け出席されました。



曹其東さん(曹其鏞さん弟、元 ABK 在館生)



賈蕙萱先生(左)と ABK 小木曽理事長

浙江大学五校合同会議における講話

曹 其鏞

尊敬するご来賓各位、皆様方、

10月の良き季節に、絵のごとく美しい浙江大学に相集い、中日青年交流センター「五校合同会議」を開催し、新たな、また古い友人とここでお会いできますことは、合同会議の発起人、また支援者として、まことに欣快に存じます。

最近の中日間の争いは本来順調に発展する道筋にある中日友好関係に影を差すものであります。中日国交回復40周年の祝賀行事はほぼすべて延期か中止となりました。9月末に北京大学で予定していた中日青年交流センターの開幕式さえ延期とならざるを得ませんでした。今日の五校合同会議については、浙江大学指導者の方々と緊密に連絡を取り合いました。明らかに、開催の中止、あるいは延期がもっとも簡単な方法であります。現在の雰囲気の下で、中日両国友好関係の民間活動を進めることは、確かに水に逆らって船を漕ぎ、報われることの少ない愚かなことでしょう。しかし、浙江大学と我々は中日関係の事柄の重さ、民間交流の重要性について認識を共にしました。目下の状況に対して、努力を倍増すべきです。このような考えで、浙江大学の指導者層は積極的に準備を進め、予定通り会議を開催して、この合同会議を成功に導くよう決定を行いました。この場で、浙江大学のご尽力に対して、衷心より感謝申し上げます。同時に、合同会議が円満かつ成功裏に終了するよう祈念いたします。

私は親日でも反日でもありません。中日両国民間の相互理解を進めるために友誼の発展を 固める基礎を作る努力は、決して名を売り誉を得るためではありません。中日二国間の友好 を促進し、協力を強め、ウィン・ウィンの関係を築くべきとの信念は、数年来、日が経つご とに増すことはあっても、動揺をきたしたことは一切ありません。

我々の歴史、地理環境は一時の喜び、憎しみによって変わるものではありません。中日両国は当然ながら多くの違いがありますが、一衣帯水の数千年の往来を持つ歴史、また共通点は他の国家に比べてはるかに多いと思います。特に、我が国の改革開放以降、20数年間の継続的な発展を通して、両国間に競争はありますが、双方の補完性はさらに顕著になったと思

います。誰かが波風を起し、小さなことを大げさに言い、紛争を起し、二国関係を百害あって一利なしという引き返すことのできない道に押しやろうとするのであれば、私は全く理解できません。政客が長期の国家利益を顧みずに紛争を短期の政治資本のために利用するということは思いもしないことです。目下の情勢は厳しいものですが、私は問題の解決に楽観的な態度を持っています。この21世紀に世界の二大経済体が小さな島のために武力を用いることなぞ想像もできません。国交回復当初に達成した「違いを残し、共通点を求める」、「争いは棚上げする」との合意は創造性に富むのみならず、積極的な一面を有していると思います。この合意はこれまで数十年間存在したのみならず、これから数十年にわたってさらに延長できないことがあるでしょうか。

昨年、元駐華大使谷野作太郎先生が上海に来て、復旦大学で行った第一回会議に参加されましたが、先日、今回の杭州での会議には参加できないとのお詫びの手紙をいただきました。その手紙に添えて、最近日本の新聞に載せた評論が入っていました。その中で、陳毅副総理が日本の作家代表団と会見した折、以下のような発言があったことが紹介されています。同副総理は「両国人民の真の友好を実現するには、我々は過去のことは過去のこととし、日本人は過去のことは忘れないということが必要です」。さらに続けて、「反対に我々が日本人に対する恨みを持ち続け、日本人は過去の中国での行動を忘れ去るということであれば、中日関係は永遠に友好であり得ない」と述べています。

40年前に中日関係正常化の折、中日双方にこのような見解の人が多かったと思います。不幸なことに目下の両国の苦境は陳毅大将軍が的確に予言したものとなりました。「恨みは報復で」、「歴史は逃避」はいずれも現実的ではなく、お互いに補い合うものでもありません。現在の二国間に横たわるこの種の不健康な消極的な現象は両国関係に関心を有する者が対応すべき問題です。私は、我々の青年交流センターがこの不正常な現象を変え、積極的な役割を作り出すことを心より希望しています。

北京大学青年交流センターはすでに正式に開き、業務を始めています。その他の四校はそれぞれの状況は異なりますが、いずれも積極的に推進されています。各校からこの会議でそれぞれの詳細について紹介がありますので、私から多くは述べません。今日、日本より遠路はるばる多くの方が来ておられます。その中には、日本の有名4校の代表が含まれています。杭州にご来訪の目的は、この機会に各校との関係を密にすることに加えて、新たな協議窓口を開き、また日本で準備中の交流センターの状況、課題について紹介して、皆様の参考に供するというものです。

中日交流センター理事会を成立させることは今回の合同会議のもう一つの重要議題です。



曹其鏞さんご夫妻(中央)と ABK 小木曽理事長(右から2人目)

過去2年あまり、長く も短くもありませんが、 この期間中、我々支援 側と各校との間で成功 裏に緊密な関係が築かれ、一致協力して多 の課題が解決されまし た。

本日、私は次のよう に発表できることを喜 ばしく思います。中国 の四大学は正式にセ ンターの建設に入り、 2014年前に落成して、

業務を始めます。センターの支援者として私がやるべきこと、またなせることはすべて行います。今後、センターの運営、管理、発展は我々の協議に基づき、各校の計画、責任の下に行います。理事会が成立することにより、内外向けの一つの受け皿を提供でき、各校間の連絡、交流を促進し、青年交流センターの日常業務、更に一層の発展のために、貢献できると確信しています。

最後に、この機会をお借りして同志を紹介したいと思います。いずれも中日関係に関心を 有し、我々のセンターの今後の発展への関与と支持をいただいている方々です。

日本より来られた、新田幸弘先生、渡邊喜宏先生、小木曽友先生、青木麗子さん、および 行天健二先生。

香港から来られた、蒙徳揚先生、渡申一郎先生、荻野正明先生、および北村隆則教授。 更に家內曹羅碧珍、私の弟の曹其東および娘の曹恵婷。

この難しい時期に、皆様が我々の会議に参加されたことはこのプロジェクトへの賛同と支持を十分に体現したものと思います。

皆様のご支持とご尽力の下で、この70歳の老人が立ち上げた交流センターが必ずや大きく発展し、中日両国国民の相互理解と友好共益の促進に貢献するものと確信しております。

ありがとうございました。

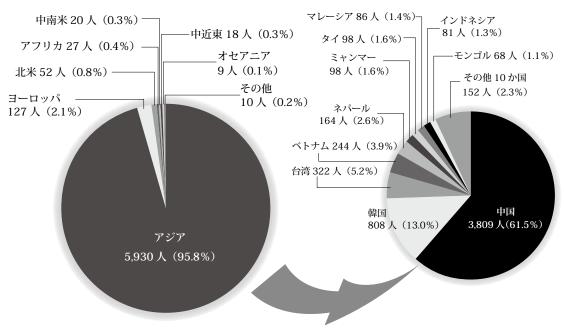


私費外国人留学生 生活実態調査より

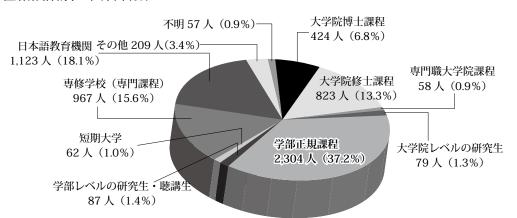
独立行政法人 日本学生支援機構(JASSO)が 10 月に公表した「平成 23 年度 私費外国人留学生生活実態調査 概要」より、主に留学生の経済事情に関わるデータを抜粋し、一部グラフ化してお伝えします。

- ・アンケートの対象者: 無作為に抽出した私費外国人留学生 7,000 人。有効回答者数 6,193 人 (男性 2,926 人 女性 3,264 人) 回答率 88.5%
- ・資料元サイト: http://www.jasso.go.jp/scholarship/ryujchosa23.html

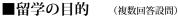
■出身国・地域別の回答者数

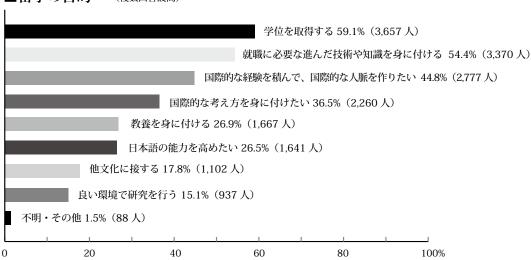


■在籍段階別の回答者数

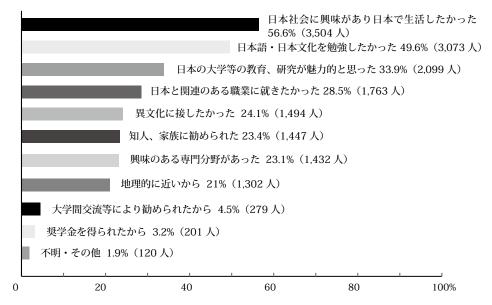


★留学事情他





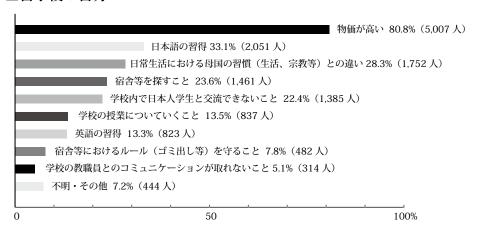
■日本を留学先として選んだ理由 (複数回答設問)



■留学するまでに特に苦労したこと(複数回答設問)

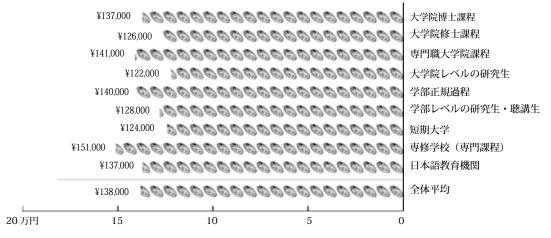
区分	日本語学習	留学資金準備	情報の収集	留学ビザ取得	留学先学校と の事前連絡	入学試験	その他	不明
人数 (人)	3,085	3,064	2,749	1,735	1,612	1,362	273	24
率 (%)	49.8	49.5	44.4	28.0	26.0	22.0	4.4	0.4

■ 留学後の苦労 (複数回答設問)

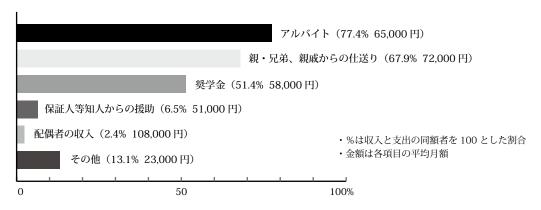


★収入

■在籍段階別の平均月収入額



■項目別平均月収入額



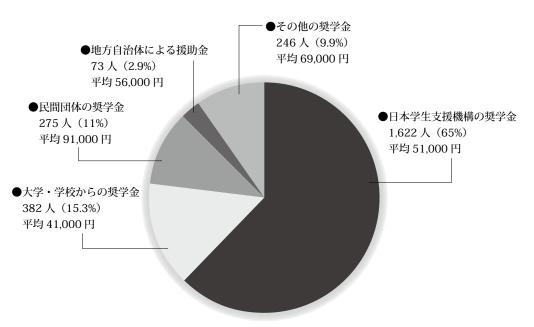
■居住地域別の項目別収入内訳

(単位:千円)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
親・兄弟、親戚からの仕送り	29	33	57	35	50	35	25	42	63	49
アルバイト	35	36	55	52	43	49	35	45	55	50
奨学金	40	30	28	31	34	31	33	27	27	30
保証人等知人からの援助	2	3	4	3	3	2	4	2	4	3
配偶者の収入	0	4	2	3	2	2	10	3	2	3
その他	4	4	3	3	2	2	3	3	3	3
合計	110	110	149	127	134	121	110	122	154	138

★奨学金

■奨学金の受給内容内訳(受給者計 2,497 人 含重複受給者)



■在籍段階別奨学金受給者

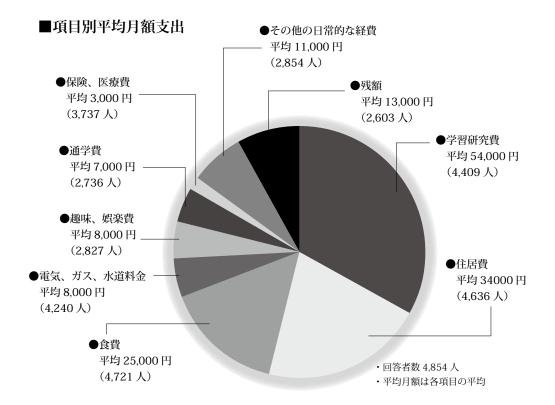
区分	大学院 博士 課程	大学院 修士 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部レ ベルの 研究生・ 聴講生	短期 大学	専修 学校	日本語 教育 機関	その他	不明	計
人数(人)	253	426	14	19	1,115	24	24	339	197	72	14	2,497
率 (%)	69.9	60.3	45.2	33.9	60.4	40.0	48.0	47.0	23.4	48.6	46.7	51.4
月平均 (千円)	89	71	56	64	51	50	54	47	53	47	49	58

[・]率は、各在籍段階別の回答者のうち、収入・支出の同額者を 100 とした割合

★支 出

■在籍段階別の平均月支出額 (全体と在籍段階別)

区分	大学院 博士課程	大学院 修士課程	専門職大 学院課程	大学院レ ベルの 研究生	学部正 規課程	学部レ ベルの 研究生・ 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	日本語教 育機関	全体
平均月額(千円)	137	126	141	122	140	128	124	151	137	138



■居住地域別の項目別支出内訳

(単位:千円)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
学習研究費	35	34	55	46	49	42	31	44	55	49
住居費	25	21	37	26	32	23	22	25	40	32
食費	24	24	25	24	24	24	26	23	25	25
電気、ガス、水道料金	8	8	7	8	6	9	7	7	6	7
趣味、娯楽費	5	4	6	4	5	4	3	4	6	5
通学費	2	3	5	4	4	3	1	3	5	4
保険、医療費	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2
その他の日常的な経費	5	7	7	6	6	6	8	6	7	6
残額	5	6	8	6	7	6	9	7	8	7
合計	111	109	152	126	135	120	109	121	154	137

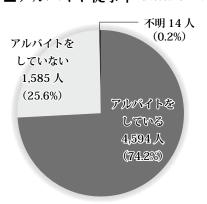
■学習研究費の内訳

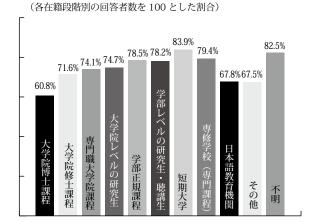
					サークル活				
区分	授業料	国立	公立	私立	短期大学	専修学校 (専門課程)	日本語 教育機関	習材料、文 具等の経費	動の会費、 合宿費
人数 (人)	4,229	725	73	1,894	38	728	771	2,244	374
率 (%)	87.1	80.8	75.3	89.5	76.0	88.1	88.9	46.2	7.7
平均月額(千円)	52	34	33	57	54	60	52	8	5

★アルバイト

■在籍段階別アルバイト従事率

■アルバイト従事率 (回答者 6,193 人)





人 (0.0%) 、配達 79 人 (1.7%)、発送作業

42人 (0.9%)、飲食業 2,243 人 (48.8%) 営業・販売 (コンビニ等) 1,163 人 (25.3%) ホテル受付・ホール係 260 人 (5.7%) 出版物等の印刷作業 13 人 (0.3%)

■アルバイトの職種(複数回答設問 回答者数 4,594人)

●その他 250 人(4.7%) ●不明 27 人 (0.6%) ●特殊技能 218 人 (4.7%) -●講師 796 人(17.3%) 翻訳・通訳 195 人 (4.2%) 家庭教師 148 人 (3.2%) コンピュータープログラマー、 語学教師 345 人 (7.5%) オペレーター 19人 (0.4%) グラフィックデザイナー4人 塾講師 50 人 (1.1%) (0.1%)ティーチングアシスタント・リサー チアシスタント 253人 (5.5%) 事務 198 人(4.3%) 一般事務 167 人 (3.6%) ●重労働 253 人 (5.5%) 計算事務 31 人 (0.7%) 土木・建設作業 4 人 (0.1%) 引越業 16 人 (0.3%) 工場・組立作業 168 人 (3.7%) ●軽労働 清掃 206 人 (4.5%)、警備 7 人 (0.2%) 倉庫整理 65 人(1.4%) ビル管理 5 人 (0.1%)、ガソリンスタンド 2 4.020 人

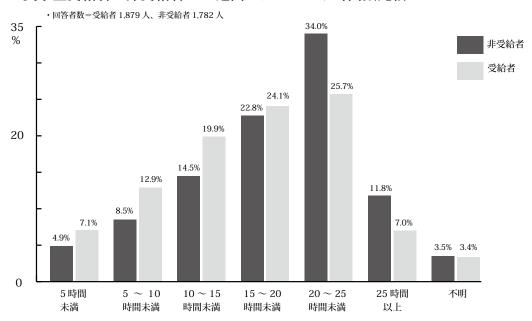
(87.5%)

■奨学金非受給者の1週間のアルバイト時間数(全体と在籍段階別)

区分	}	5 時間未満	5 時間~ 10 時間未満	10 時間~ 15 時間未満	15 時間~ 20 時間未満	20 時間~ 25 時間未満	25 時間 以上	不明	計
大学院博士課程	人数(人)	6	8	18	17	16	11	4	80
八子阮母上詠性	率 (%)	7.5	10.0	22.5	21.3	20.0	13.8	5.0	100.0
大学院修士課程	人数	9	37	41	58	50	13	6	214
八子匠修工体性	率 (%)	4.2	17.3	19.2	27.1	23.4	6.1	2.8	100.0
専門職大学院	人数(人)	0	2	3	4	7	0	0	16
課程	率 (%)	0.0	12.5	18.8	25.0	43.8	0.0	0.0	100
大学院レベルの	人数(人)	2	4	5	5	9	2	1	28
研究生	率 (%)	7.1	14.3	17.9	17.9	32.1	7.1	3.6	100.0
学部正規課程	人数(人)	29	48	94	118	199	72	22	582
子印止戏林生	率 (%)	5.0	8.2	16.2	20.3	34.2	12.4	3.8	100.0
学部レベルの	人数(人)	0	1	6	7	10	1	0	25
研究生・聴講生	率 (%)	0.0	4.0	24.0	28.0	40.0	4.0	0.0	100.0
短期大学	人数(人)	0	1	4	7	10	1	0	23
₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩	率 (%)	0.0	4.3	17.4	30.4	43.5	4.3	0.0	100
専修学校	人数(人)	17	16	27	55	124	46	11	296
(専門課程)	率 (%)	5.7	5.4	9.1	18.6	41.9	15.5	3.7	100.0
日本語教育機関	人数(人)	23	32	52	117	158	60	12	454
口华丽狄月饭闲	率 (%)	5.1	7.0	11.5	25.8	34.8	13.2	2.6	100.0
その他	人数 (人)	0	1	7	16	15	5	6	50
-2 07IE	率 (%)	0.0	2.0	14.0	32.0	30.0	10.0	12.0	100.0
不明	人数 (人)	1	1	1	2	8	0	1	14
1,494	率 (%)	7.1	7.1	7.1	14.3	57.1	0.0	7.1	100.0
合計	人数 (人)	87	151	258	406	606	211	63	1,782
日前	率 (%)	4.9	8.5	14.5	22.8	34.0	11.8	3.5	100.0

[・]回答者数はアルバイトをしいると回答し、かつ奨学金を受給していないと回答した数 1,782 人

■奨学金受給者と非受給者の1週間のアルバイト時間数比較



間を迎えた関たちの目な留学

イット ウィサル (Mr. Visal ITH) ~カンボジア

東京工業大学大学院 土木工学専攻(修士1年)

秋田での留学生活

日本政府奨学生として日本に 留学した僕は、東京で1年間日 本語を学んだ後、秋田工業高等 専門学校(秋田高専)の3年次 に編入しました。

入学して最初の半年間は日本語でのコミュニケーションがうまくとれず、友達もできませんから、この時は本当に孤独で、世界中で自分は独りぼっち、という感じでしたね。でもその後日本語の上達とともに、友人の数は増えていきました。

僕が住んでいた学校の寮は夏休みや冬休みなどの長期休暇中は閉められるため、その頃になると日本人学生は親が寮に迎えに来て、車に乗せられて帰って行くんです。僕たち留学生はその光景を眺めているわけですが、その時は涙が出るほど寂しい気持ちになるんです。さらに、寮に残った留学生達も帰国したり、東京の留学生仲間のところに遊びに行ったりしてしまうので、一月半、寮に僕一人ということもありました。周りには田

んぼしかありませんし、当時寮 にはインターネットの設備もな かったので、夜になると凄いホ ームシックになって、ストレス がたまりましたね(笑)。

ただそれ以外、教職員の人た ちはとても良くしてくれて、何



の問題もなく高専での3年間を 過ごすことが出来ました。

高専卒業後は秋田大学の3年次に編入したのですが、大学でも学科の全ての先生方と仲良くなれて、勉強の面での苦労はありませんでした。また、たくさんの友人も出来て、「いま僕は良い人生を送っているなあ」と思うことが度々あるような、充

実した大学生活でした。

ただ、日本政府の奨学金は6年間で終わりますから、大学院へ進学する場合、学費はどうするのか、将来の就職のためには、秋田を出て東京で進学したほうがいいのではないか、といったことなど、不安や悩も抱えていました。

大学院への進学

結局、大学院は東京工業大学 に合格し、その後3月下旬とい うギリギリのところで山田長満 奨学会の奨学金をいただけるこ とになり、無事修士課程に進む ことが出来ました。

大学院での専門は土木工学で、鉄筋コンクリートの劣化と補修に関することを研究しています。今の指導教官はとても有名な方で、なかなか指導を受けにくいというか、聞きたいことがあっても、「こんなことを聞いていいのかな」と遠慮してしまうことがよくあります。秋田では過保護なほど良くしてもらっていたので、余計にそう感じ

てしまうのだと思います。その 点が今現在の難しいところです。

反面、大学の環境は素晴らしく、研究に必要な材料は多少高価でも自分が希望したものを揃えることができます。ですから、大学の満足度はとても高く、慣れ親しんだ秋田を離れて東京に来て良かったと思っています。

兄弟の進学を可能にした 日本の奨学金

僕はタケオ県のサムダッチポン村で、兄と弟、妹3人という6人兄弟の次男として育ちました。

村には農業と先生以外の職業 はほとんどなく、学校を卒業し て先生になるのが、村の子供が 抱ける精一杯の夢でした。逆に 言えば、先生にならず農業をす るのなら、学校を卒業してもあ まり意味はなく、そのため高校 へ進学する人はわずかしかいま せんでした。大学に進学する人 はさらに少なくて、学年で1/4 くらいだったと思います。しか も大学は首都のプノンペンにし かありませんから、進学する人 は親元を離れて生活しなければ ならず、これは家族、特に兄弟 が多い家にとっては経済的に大 変なことです。

兄弟みんなが親に負担をかけずに進学するにはどうしたらいいのか。僕たちは、外国政府の 奨学生になることだけが、その 道を切り開く唯一の方法だと考えたんです。

せんから、まず兄がプノンペン 工科大学に進学し、そこでチャンスを待って日本政府の奨学生 試験を受験、合格しました。僕 も兄を目標に勉強し、兄に続く ことが出来ました。その後、弟 も僕たちと同じように奨学生と なり、今日本で学んでいます。

そして日本に来た兄3人が奨学金を大切に使い、少しずつ国に仕送りをしたおかげで、妹2人もカンボジアで進学することができました。今2人は結婚したもう1人の妹の家に住みながら、プノンペンの医科大学に通っています。

日本の奨学金のおかげで、日本に来た兄3人だけでなく、カンボジアにいる妹2人も大学へ進学することが出来たんです。

留学で村が変わる

僕の両親は村の教師ということもあって、僕たち兄弟の話は村中に広がり、その後進学に対する住民の意識が変わりました。 外国政府の奨学生になって留学



高校3年の時。クラスのトップになり校長先生から記念品(ノートや教科書)を贈呈される

をすれば、誰でも大学へ進学するチャンスがあるということで、今はみんながそれを目標に高校に進学し、勉強をしています。中には実家から持って行ったお米だけを食べながら、プノンペンで奨学生試験のための勉強に励んでいる人もいます。

最近の留学先としては、中国やベトナムに行く人が多く、インドネシアやラオス、キューバに行っている人もいます。親に負担をかけずに大学まで行けるチャンスがあるのであれば、多少条件は悪くても、どこの国にでも行こう、という感じですね。

国に電話をする度に、「どこの誰がどこの国に留学したよ」という話がありますから、10年後にはほとんどの村人が大卒者になっているはずです。そして、村は変わると思います。最近も、同じ高校の後輩が日本に留学してきましたが、「先輩の話を目標にがんばりました」と言われると、自分は村に貢献できたんだなあと、とても嬉しく感じます。



お世話になった日本語学校の先生ご家族と



高専に編入した頃。希望 に燃えてました



高専の4年生の時。見学旅行で同級 生達と

日本に感謝!

ポルポト政権時代、知識人は虐殺されたり、国外逃亡をしてしまい、カンボジアには高学歴者がいなくなってしまいました。そのため、僕の父は高校卒で高校教師、母は小学校卒ですが、小学校の教師をしています。

内戦の時代は学校に行ける人はごくわずかですから、父のような存在は珍しく、戦争に行っている子供への手紙の代筆を村人から頼まれることもあったそうです。それほど無学な村の親達にとって、子供たちが外国政府の奨学金で大学に行く、海外に留学するというのは想像も出来ない世界なんですね。

僕の両親は日本政府の誰を知っているわけでもなく、日本と何の関係もないのに、自分たちの息子娘が日本の支援で大学へ行くことが出来たと言って、心から感謝しています。ですからカンボジア人がほとんど出ていないオリンピックでも日本を母国のように応援して楽しんでい

るんです。

今、カンボジアの支援国として有名なのは中国と日本ですが、中国の援助は政府に対して、日本の援助は民衆に対して行われるというイメージをカンボジア人は強く持っています。だからカンボジア人は日本人が好きなんです。僕の親も子供が外国に行くことは心配ですが、日本だけは自然と安心できると言います。

日本留学のメリットは

カンボジア人の留学先として人気のあるシンガポールは英語が出来ればすぐに大学に行けますから、日本とシンガポールの奨学生試験に受かった人の中には、シンガポールを選ぶ人もいます。

でも僕の場合、日本に来て 良かったと思う理由の一つに、 その日本語ができるようにな ったことがあります。大学の 研究や発表の場面で英語は必 須ですし、英語圏に行った人 ほどではないにしても、がん ばれば、日本にいても必要な 英語力を身に付けることは可 能です。

それに英語を話すカンボジ ア人は大勢いますが、日本語 が出来る人は少なく、それは 必ず仕事に就く上での大きな 武器になるはずです。また文 化面や環境面でも日本では東 南アジアとは異質なものを体 験し学ぶことができますから、 今、日本に来て本当に良かっ たと思っています。

僕は、修士課程修了後、就職をすることも考えていますが、いつかは博士号をとってカンボジアの大学の教員になりたいと考えています。そして多くの若者に接していきたい。

今、カンボジアは経済成長で 貧富の差が広がっています。貧 しい人たちの中には早くから子 供の教育を諦めてしまう親もお り、悪循環に陥っています。僕 は自分の村がそうであったよう に、子供たちの可能性の火を消 さないよう、地方の村々に自分 の経験を伝えていきたいと思っ ています。



※ 各情報の詳細は主催団体ホームページ等でご確認ください。奨学金情報は、日本留学情報データベースサイト = JPSS(http://www.jpss.jp/ja/)にて検索が行えます。

奨学金情報

たかくこくさいしょうがくざいだんがいこくじんしょうがくせい ■高久国際奨学財団外国人奨学生

給付金額:月額7万円

た。 うふきかん **給付期間**:2013年4月から1年間

採用人員:6名

^{あう ぼ} **応募方法**:申込書(ホームページからダウンロ

ード可)と必要書類を主催団体に郵送。

募集期間:11月1日~30日

主催団体:一般財団法人 高久国際奨学財団 はなく こくさいにかい さいたい 東京都港区西麻布 4-17-4 高久国際奨学財団

E-mail info@takaku-foundation.com

URL http://www.takaku-foundation.com/

とうかきょういくぶんかこうりゅうざいだんしょうがくせい ■東華教育文化交流財団奨学生

対象:2013年4月1日現在、日本の大学(学 対象:2013年4月1日現在、日本の大学(学 部3・4年生)もしくは大学院に在(入)学する私費中国人留学生(台湾、香港、マカオ出身を含む)で、留学生活上経済的援助を必要とすると認められ、学力優秀で身体健康な者。月額2万円を超える他の奨学金との併給不可。

きゅうふきんかく けつかく **給付金額(月額)**: 10万円

きゅうふきかん **給付期間**:2013年4月から1年以内

新規採用:10名

である。 である方法: 主催団体まで応募書類を郵送する。 「思いらようご」 募集要項・申込書類は主催団体ホームページか

らダウンロード可能

応募期間:11月1日∼30日

こうえきざいだんぼうじんとうかきょういくぶんかこうりゅうざいだん
主催団体:公益財団法人東華教育文化交流財団

とうきょうとちゅうおうくぎんざはっちょうめ ばん ごう 東京都中央区銀座八丁目2番12号

☎ 03-3571-7613

E-mail info@donghua.or.jp

URL http://www.donghua.or.jp

ほんじょうこくさいしょうがくざいだんがいこくじんりゅうがくせいしょうがくきん ■本庄国際奨学財団外国人留学生奨学金

たいしょう 対象:①日本の大学院に留学する日本国籍を 持たない学生のうち、学業、人物ともに優れ ながら経済的理由により援助が必要と認めら れる者。② 2013 年4月以降に在籍してい るまたは入学が許可されており、在籍証明書、 でうかくしょうめいしょ にゅうがくきょか しょとう にゅうがく ないてい しょうめい 合格証明書、入学許可書等、入学の内定を証明 できる書類のいずれかを提出できる者。③ はかせかていざいせきしゃ 博士課程在籍者は、1977 年3月31日以降 う もの しゅうし かていざいせきしゃ に生まれた者、修士課程在籍者は 1982 年 3 月 31 日以降に生まれた者。④大学院修了後、 母国において勤務することを確約できる者。(将 来母国において什事をする意思を持つ者。) ⑤ 国際親善や交流に理解をもち、財団で行う行事 や同窓生ネットワークに積極的に参加または協 力できる者。⑥日本語の日常会話ができる者。 がん はつがく まんえん ねんかん げつがく 間 (2) 月額 18万円を3年間 (3) 月額

15 万円を 4~5 神か的 くいずれも最終目標とする学位取得までの最短年限とし、本人が選択できる。各コースにおいて支給が終了したあとの延長、または支給開始後のコースの変更はできない。〉

きゅうふきかん **給付期間**:2013年4月から

採用人数:15~20名

ชう ほ ほうほう しゅさいだんたい **応募方法**:主催団体ホームページにある応募フ

ォームに入力する

募集締切:11月30日

主催団体: 公益財団法人 本庄国際奨学財団 〒 151-0063 東京都渋谷区富ケ谷 1-14-9

2 (03) 3468 - 2214

E-mail info@hisf.or.jp

URL http://www.hisf.or.jp

イベント情報

がいこくじんりゅうがくせい **外国人留学生のための合同企業説明会「JOB 博**」

 く東京
 2012年12月8日(土) 11:00 - 18:00、パソナグループ本部(千代田区 大手町 2-6-4 / JR「東京駅」日本橋口、東京メトロ「大手町駅」B9出口/「日本橋駅」A1 出口) にて

●参加申込:www.pasona-global.com/jobhaku/

●主催: (株) パソナ グローバル事業部 (問合せ: globalinfo@pasona.co.jp)

「世界の仲間とゆく年くる年」~体験日本のお正月~

世界の仲間と一緒に、日本スタイルの年末年始を体験しましょう。年末には、レクリエーショ なんかしゃぜんいん きから ま ンゲーム、参加者全員で力を合わせて作る太巻きづくりや、だるまの絵付け。年越しでは、年 こ。 越しそばの試食、そして参加者全員でカウントダウンをします。元旦には初詣でなどを含む東 まょう しょうがつさんさく おこな 京のお正月散策も行います。

- 2012年12月30日(日)~2013年1月2日(水)
- こくりつ きねんせいしょうねんそうごう とうきょうとしぶゃくよよぎかみぞのちょう 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町 3-1)
- 人**数** 400名 <募集期間 10月24日(水)~11月30日(金)>
- 多加申込 http://www.niye.go.jp
- どくりつぎょうせいほうじん こくりつせいしょうねんきょういくしんこうきこう 独立行政法人 国立青少年教育振興機構

お問合せ: **☎** 03-6407-7756 **e-mail** yukutoshi@niye.go.jp)

MEMBERS

〈ご入会とご寄付の報告〉

2012年8月

正会	員
(2口)	
李廣	目黒区
(1□)	
浜田 洋子	豊島区
勝山 桂香	千葉市
小林 浩	松戸市
斎木 史	足立区
新田 宜子	西東京市
黒羽 宏	水戸市
豊島 正大	横浜市
(有)プルミエ	(アクア)松戸市
大木 隆二	福岡市
堀内 智代子	国分寺市
藤原 一枝	武蔵野市
宮原 彬	長崎市
山口 誠	吾妻郡草津町
荒川 雄彦	所沢市
竹田 繁	南陽市
岩井 秀生	入間市

大和 正國 鶴ヶ島市 岩井 秀明 川越市 (財)三浦教育振興財団 松山市 豊島 由久 所沢市 永井 マス子 川崎市 遠東国際貿易(株) 豊島区 岩原 慶一 杉並区

ご寄付

斎木 史 足立区 千代田区 大島 雅子 深澤のぞみ 金沢市

2012年9月

特別会員

松平 吉世 羽生市 今西 淳子 文京区

替助会員

服部 泰子 豊田市 村田弘司 近江八幡市 東洋パーツ(株)秩父郡長瀞町 近藤 壮一/みつ子 清瀬市 服部 泰子 豊田市 昭和西川(株) 中央区

正会員 $(2\square)$ 柳瀬 修三 タイ $(1 \square)$ 土屋 元子 千葉市 鴇田 純一/由美 千葉市 大杉 立 つくば市 土屋 元子 千葉市 リンク情報システム(株) 渋谷区 野口 明美 三鷹市 平峯 克 川崎市 小倉 美恵子 川崎市 鴇田 純一/由美 千葉市 寺尾 方孝/三枝子 国分寺市 稲澤 宏一 新宿区 ご寄付 栗原 静子 気仙沼市

今回もたくさん の御協力をいた だき、ありがと うございました



ABK同窓生募金 (2012年9月30日現在)

で協力ありがとうございました。募金のご報告は『アジアの友』並びに同窓会ホームページ < http://www.abk.or.jp/abkd/fund/houmeiroku.html > で随時ご報告させていただきます。

●目標額:5,000万円

●募金額:45.089.848円(目標残:4.910.152円)

●寄付者数:815件

〈 〉内は出身・在住国、地域、ABC順

<日本>稻澤宏一、岩井秀明、松井正枝、西谷隆義、新田宣子、仁田裕子、斉木史、篠塚景市、 澤登千恵子、鴇田純一/由美、外山経子、土屋元子、山口誠

<マレーシア> Chai Koo Peng、Chan Huan Pan、Cheang Chuan Ley、Cheang Sai Keong (シンガポール)、Lee Kong (李廣) /Lam Chok Yak、Soo Ka Jin、Lim Chin Kok、林月秋/傳亮(中国)、Ng Chee Meng、Teo Kim Chuan、Ung Yat Keat、Wong Kim Choy、匿名希望(1)、工藤英弥

<タイ> ABK and AOTS Almuni Association (Thailand)

以上、28件

2012年7月31日以前の寄付者(786件)

<バングラデシュ> A.K.M. Moazzem Hussain、橋本イスラム・ヌルール(在日)

〈ブラジル〉 ALBERTO TACHIBANA、Alice Nakamori、フランシスコ ヒロノリ イシハラ、Hashiguchi Mariuza、Matsubayashi Marcia、ミズマ アイコ タチバナ、Nelson Yamakami、セキヤ タチバナ、Tomooka Tizuko、ヤマウチ アツシ、ヤマウチ カズコ

<カナダ> 張素華(香港)

<中国> 蔡堅平、陳洪真、Chen Xian (陳献)、戴志堅 / 陳艶萍(2、在日)、高栄、可軍(広中軍二、在日)、賈輔忠、賈蕙萱、金秋、金東翰、郭南燕(在日)、李春利(在日)、Li Chen Xi 李晨曦、李惠春、劉明華、劉映春、劉越(在日)、呂新一(在日)、孟令樺・計宇生(在日)、Meng Xiao Xiao、宮下偉路(趙偉路、在米)、倪玉、Ou Yang Fei 欧陽菲(在日)、朴順玉、全浩、沙蓮香、尚捷、孫前迸、王巍、Wang Wen 王穏、魏慶鼎、厳浩、楊一帆、張航、張建敏、張新、張

新旺、張勇、Zhou Xiang

<**ドイツ**> Heng Fu Chong(マラヤ)

<香港> Chan Sui Ngan (陳小雁)、Choi Man Wa (蔡敏華)、梁志瞬、Yeung King Hong (楊経航) / 蔡金燕(マレーシア)

<インド> AAAWI (AOTS Alumni Association of Western India)、A. P. Wagle、ABK-AOTS Dosokai Chennai Center、Abul Sharah、Ashok Saraf、雅留宮久麿(在日)/ 澄子(日本)、M. Ramamurthy

<インドネシア> Budhi Setiawan Kohar

<イラク> Mudhafar Al. Jabiri

<カンボジア> 忍足林基(在日)/美恵子(日本)

<日本> ABK 留学生友の会、赤星裕、新谷美紀子/美也子、安藤哲生、新井敬二・由利、新井重光、 荒川雄彦、アジアの新しい風、Ch atty B.Q. (ワタナベ)、近山武子(3)、千野克子、藤原一枝、 深澤のぞみ、福譲二、福本一、古川恵世、布施知子、濱田洋子、浜崎長壽 / 和子、秦幸吉、橋口真 人、林均、樋川好美、平井まりこ、平峯克、平岡昭子(2)、平田熙、帆刈礼子、堀香奈美、堀幸夫、 堀内智代子、細川哲士、穂積亮次、井出遊、飯沼英郎、池田俊二、池森亮介、池野朋彦・晶子、池 添尚行、稲垣敏彦、井上恵子、井上駿、犬塚雄大、伊佐玲子(2)、石原廣、石原誉慎、石井信彦、 石川毅・優子、伊藤郁子、伊藤順(3)、伊藤源之(2)、岩井秀明、岩尾明、岩佐佳英、岩崎幸子、 甲斐等、加倉井弘行(2)、兼重節、兼重道雄、兼重智雄、勝部純基、香月恵美子(2)、河合秀高、 川上剛(2:在スイス)、川崎依邦(OCE)、北マツ、北川泰弘、北原干絵、北山文泰(2)、倉部絹代、 小林浩、小林泰子、小宮信介、金野隆光(3)、久保哲也、久保木裕一郎、工藤正司、工藤幹雄(5)、 熊沢敏一、倉内憲孝、栗原静子(2)、黒田一雄、黒羽宏、久津間優子、町田恵子、町田航、牧美 保子(2)、槇操、馬杉栄一、松平吉世、松井正枝、松岡弘、松崎松平(2)、真弓 忠、宮野尾光 正、宮内俊治、水須善幸、森尾正照、森下明子、村田忠禧、村山秀男、中原和夫(2)、中畠正喜 (2)、中嶋源吾、中元菅根(2)、中村洋一、中野正明、中曽根信(3)、日本養成学会、西田祥子、 西垣宰朋、西原彰一、西嶋勝彦、西本梶、西村清人、西谷降義、新田宣子、野田(小金丸)春美、 野口明美、野村美知子(3)、小田中聡樹、小川巌、小川輝夫、小木曽大(2)、小木曽建、小木曽 友(3)、小倉尚子、小原正敏、大西一郎、岡島昭治、岡崎道子(2)、大木直美、大久保伸枝、大 野大平、大里浩秋、大島光恵、岡部洋一、奥山節子、奥山義夫、大村光、小野寺武夫、小野里光博、 大澤龍、忍足絵美、忍足眞理、大杉立、大谷里恵子、六文会、斉藤雅史、齋藤美知子、齋藤やす子、 酒井杏郎(2)、榊正義・正子、酒巻彩乃、坂元ひろ子、三溝弘悦、早乙女和義・博子、佐藤郁夫、 佐藤正文(2)、佐藤玲、澤登千恵子(2)、関正昭、渋谷寧伸、清水国夫、清水勇治・泰代(2)、 白石勝己、白石勤、白鳥文子、代田泰彦、尚美学園大学国際交流センター、染谷公久、染谷誠、總 寧寺、菅原照代、杉本宏樹、杉浦貴和子、杉山兼一、栖原暁、鈴木繁、鈴木智、鈴木八重子、鈴木 順子、田川明子、田口久美子、田口昌子、田尻英三、高道俊彦(3)、高木桂子、高橋喜久江、高 橋満、高橋作太郎(2)、高橋幸枝、高橋雄造、高野靖子、高柳直正、竹林惟允(3)、竹田肇・和子(2)、竹嶋俊紀、宅間薫(2)、田守智恵子(2)、田中千佳子、田中雅幸、田中美智子(2)、田中利恵子、田中紳一郎、田中多美子(2)、田中稔子・静子、谷口哲雄、寺門克郎(2)、寺尾方孝・三枝子、寺沢宏次、田井満里、田井良知、田井亮吉、戸田清、鴇田純一・由美(2)、東京華僑総会、富岡昭二郎、外山経子(8)、豊島由久、土屋元子、土屋幸子、佃吉一(2)、鶴尾能子、堤祐子(2)、内山敦之、宇戸清治、上高子、上田菜生、植田泰史、畝本昌介、漆嶌才子、渡辺譲二、籔下勝、山田健一、山田守一、山田裕子、山口憲明(3)、山本斉、山本出、山本章治、山野井昭雄、山之内正彦・萩子、山下靖典、山海保、山崎光郎(3)、依田良子、横山昌幸、横沢喜久子、横山昌幸、吉原秀男、吉田裕子、吉田菜穂子、吉原工ツ子、吉川英一(在中国)、湯山佳代、匿名希望(4名)、50周年委員会売上(4)

<韓国> 崔銀珠(在日)、韓英鳩、西原景哲(在日)、Oh Bum Suk、Youn Seong Kook(尹誠國、在日)、禹守根(在中国)

<ラオス> Chanthasone Inthavong (在日)

<マレーシア> 2011 年 11 月 12 日留日学生同窓会パーティー―同、Adelyn Ngo、Amy Tan (陈春莲)、Alan Tan Yu Poo、Ang Gi Moh (洪以谋)、Ang Khoon Chye (汪坤才) (2)、 Ang Lip Chee (洪立志)、Ang Sheng Feng (洪巧芬)、Ang Wan Leng、Apple Vacation & Conventions Sdn. Bhd. [苹果旅游有限公司; Koh Yock Heng (許育興)]、Aw Leong Gee (欧良義)、Beh Chor Kim、Beh Teck Chuan、Boon Woo Seng (温武成)、CM Aung、 Cha Yee Seng (謝宇誠)、Chan Huan Pang (曾煥邦)、Chan Kok Foo (陳国富)、Chang Chew Chin (張昭成) (3)、Charles Chow (邹贵璋)、Chaw Kam Shiang (周錦生)、Cheah Soo Lin、Cheong Bee Nah (鐘美娜)、Chew Ching Seng (周昌盛) (2) /Low Kim Lee (刘金莉)、Chew Fook Keong(周福强)/Goh Ger Teng(呉月婷)、Chia Hong Hyiap(謝 鴻業)、Chia Li Teck (謝礼得)、Chia Mee Hang (蔡美賢)、Chin Yok Wan (陳玉旺)(2)、 Chin Saw Kiun (陳少勤、在日)、Chiu Jin Eng (冰周人英) / 林恵冰、Chong Piang Wee (张 炳辉)、Chong Teek Foh (張德福)(2)/Chow Soo Lin、Choo (2)、Yun Fah、Choong Chee Yee、Choong Yoon Seng、Chow Kwee Lin (邹貴仁)、Chuah Yeon Hang (蔡耀漢) / Keong Chin Huai (強青懐)、Chuan Seong Tiang (Jeff Tiang)、Chuie Wai Kong (朱威 金光)、Clifford Lee(李進才)、Ee Ley Tiong(余励忠)(2)、Fong Cheong Thiam(洪昌添)、 Fong Wee Keat、Foo Hee Hiang (符気強) (2)、Foo Keah Keat、Foo Ming Lian (符明蓮)、 Foo Siang Seng (符祥盛) (2)、Foo Soo Kong (符素光) (2)、Foo Yuki (符優綺)、Gan Kok Seng (颜国成)、Gan Seu Kian (顔綉涓)、Gan Teck Yeow (顔得耀) (2)、Goh Peng Ooi、Goh Swee See (呉瑞獅)、Ham Poh Can (范宝权)、Ham Poh Chyan、Heong See Yoon (香世运) (2)、Hew Boon Thai、How Chai Nguan (侯再源)、Joan Wai Kim Foh、 Kang Chin Yeh (江晋業)、Kenneth Wong (黄復翔) (2)、Kevin Ng (呉錦強)、Khu Hwa Leng (邱華龍)、Koh Hong Hwee (許鴻輝)、Kong Guan Wie (江元偉)、Kong Kwee Song (江

回松)、Kong Sian Shih (江 幸柿)、Lai Yoon Poh(赖永保)、 劉·有村開順、Lau Kok Yong (刘国栄)、Lau Sau Hong (劉少峰、在日)、Lau Shiang Horng、Lau Weng Wah (刘 润华)、Lee Check Poh (李 志保)/Ng Sui Ying(黄瑞 英)、Lee Chee Heong (李志 雄)、Lee Kian Ling (李建霖)、 Lee Kian Ling (李健霖)、Lee Kong/Lam Chok Yak, Lee Leong King (黎亮景)、Lee Liong Mui、Lee Miow Ying (李 妙英)、Lee Mow Tiam (李茂 添)(2)、Lee Tee Boon(李 智文)(2)、Lee Tiam Hing(李 天興)、Lee Yuet Keong(呂 月強)/Kek Sai Fong(郭思 坊)、Leong Khee Hoo(梁其和) (2)、Leong Thiat Eng(梁徳栄) (2)、Leong Wing Sum (梁永

森)、Lew Kim Song(劉金雄) (2)、Liau Kok Wee、Liaw

2012/9/30 現在 ABK 同窓生募金国別集計

国·地域	件数	合計額	備考
日本	345	18,353,712	含、在外/同一人複数回
マレーシア	314	13,634,974	含、在外/同一人複数回/日本人26/ シンガポール1
タイ	50	6,831,007	内日本人17
中国	42	2,455,000	含、在外/在日他
ベトナム	7	1,423,000	含、在日
ブラジル	12	627,015	
韓国	7	420,000	含、在日他
カンボジア	1	300,000	在日
シンガポール	8	380,140	含、在日
インド	7	190,000	含、在日
香港	4	170,000	
台湾	9	165,000	含、在日
ミャンマー	1	50,000	
バングラデシ	2	40,000	含、在日
イラク	1	10,000	5
インドネシア	1	10,000	0
パキスタン	1	10,000	在日
ペルー	1	10,000	在日
ラオス	√ 1	10,000	在日
合計	814	<u>45,089,848</u>	

CK (廖俊光)、Liew Teck Boon (劉徳文) (2)、Lim Bok Hek (林木火)、Lim Chee Tian (林志田)、Lim Chin Ee (林振意) (3)、Lim Chong Chan (林忠贊)、Lim Hock Lai (林福来) (2)、Lee Li Soon、Lim Liong Chu (林良住)、Lim May Yan (Mmrcia Lum May Yan) (2)、Lim Peng Jin (Scientex Japan Co., Ltd.)、Lim Sin Yean (林欣燕)、Lim Soon Hang (林顺桁)、Lim Suat San (林雪珊)、Lim Thian Huat (林天发)、Lim Yok Chai (林意財)、Loh KC (羅国俊)、Loke Hon Yee (陆汉宇) (2) /June Tan (陈素芯)、Low Cho Kee (刘助基)、Low Han Peng (刘汉平)、Low Kim Lee (劉金莉)、Low Leong Meng (羅亮明)、陸培春留日センター、Lwee Lew Chen (雷柳菁)、Lwee Yuen Chiang (雷远江)、Lwee Yuen Tung (雷远东)、Na Chin Teong (藍振忠)、Ng Chin Keong (黄振強) (2)、Ng Chuan Aik (Tony Cang;黄泉毓)、Ng Eng Hooi (黄永輝)、Ng Kim Chai (黄金財) (2)、Ng Mee Wah (呉剣華) (2)、Ng Teong Guan (黄忠元)、Ng Thian Eng (黄殿英)、Ngiam Tee Seng (厳世清)

(2)、Ngwan Boon Ming (阮文明)、Ong Cheng Chuan (王清川)、Ong Cheng Han (王清 漢)、Ong Ching Long (王建龍)、Ong Chooi Lee (王翠莉)、Ong Poh Heng (王宝慶)、Ong Thye Beng (王泰明)、Ong Wei Bing、Ong Yee Meng (王玉明)、Pang Choon Boon (彭俊 文)、Pang Pow Kwee (方宝貴)、Pang Yuet Hueng (彭月紅)、Phang Siew Kiong (彭修 强)、Poh Siew Hui (傅秀慧)、Puah Chin Chye、Quah Saw Ting、Quah Soh Teah、Sam Cha Peng (覃澤平)、Seah Boon Chieng (謝文清)、Shia Wei Jong (余維忠)、Siau Fook Siong (箫福祥)、Siew Kooi Kam (萧钜金)、Siew Moey Yen、Sim Ee Looi、Sim Eng Kang (沈永江)、Sim Kee Hong (沈其豊) (2)、Sim Kim Ling、Simon Liow (廖天發) /Ho CL (何俅伶)、Soo Kee Chee (蘇克智)、Soh Keh Woei (蘇克偉) (2)、Soo Seck Heng (苏 锡兴)(2)、Soon Kian Seng (孫健勝)、SKK Kaken (M) Sdn Bhd、Soon Sai Kheng (宋 世勤)、Stanley Lian、Su Kui Sheng (蘇桂昇)、Sui Kwai Chan、Tan Boon Liang (陳文 亮)(2)、Tan Chaik Kwang (陳澤光)、Tan Chee Kiong (陳志強)、Tan Chee Teong (陳 治中)、Tan Cheet Yong(唐志勇)(2)、Tan Chew Mooi(陈秋妹)、Tan Hwee Ing、Tan Keah Moh (陳佳茂)、Tan Kee Hang (陈继汉) (3)、Tan Pang Tee (陈邦智)、Tan Peck Ming (陳碧明)、Tan Peck Ming (陳碧明)、Tan See Seng (陳時生)、Tan Soo Sin (陳素 芯)、Tan Wee Pin、Tan Wee Seng (陈为胜) (2)、Tang Eng Huat (陳永発) (2)、Tang Gek Eng (陈玉英)、Tang Kok Lian (湯国亮)(3)、Tang Miow Chin (湯妙晶)、Tay Kiam Guan (鄭謙源)、Tee Choon Hong (2)、Tee Kian Meng、Teh Chong Yee (鄭忠義) (2)、 Teng Kim Yin (鄧錦雲)、Teo Bee Hong (張美宏)、Teo Boon Lian (張文連)、Teo Chuan Soon (張川順)、Teoh Eng Choo (張映水)、Teo Kian Song、Teo Kwee Swee (张贵水) (2)、Teo Tiam Hwa (張添華)、Teoh Eng See (張映絲)、Tey Khern (郑勤)、Tey Kian Teong (鄭建忠)、Tham Kok Who、Thye Meng Yu (鄭茗友)、Tiang Chuan Seong (鄭俊雄)、 Toh Leong Chee (卓良志)、Toh Peng (杜平)、Wong Chao Hsiung、Wong Chee Ken (黄啓耕)、Wong Chin Shiuan (黄晋軒) (2)、Wong Choon Leng、Wong Fee Ping (黄慧 萍)、Wong Jiunn Shyong、Wong Ka Seng (王家成)、Wong Kim Choy、Wong Kok Hoi、 Wong Kuok Hung (黄國鳳)、Wong Mei Kin、Wong Seng Keng (黄成耕)(2)、Wong Sheong Chin (黄鐌进)、Wong Tzong Chyang (黄宗強) (2)、Yap Men Fatt、YB Liang Teck Meng (梁徳明)、Yeung King Hong、Yew Kuen Ying (姚群英)、Yew Siew Leong (姚 瑞良)、Yong Chin Chew (楊 清洲)、Yap Geng Yi (叶耿瑜)、Yong Hwee Yan、Yap Shin Woei (葉信偉)、Yew Siew Leong (姚瑞良)、Yong Cheng Yun (楊青雲)、Yong Hon Wee (楊 漢威)、Yong Kian Teck (杨建德)、Yong Kok Lin (楊国霖)

坂東慶彦、藤田陽一、深民崇夫、石原政一、伊藤要、稲田幸司、越場直樹、五条章二、河野修、小松電機産業(株)代表取締役小松昭夫、水田康広、水野伸明、森下治幸、大須賀稔晴、貞包物産(株)、柴田保、下村安秋、白石和也、SKK Kaken (M) Sdn Bhd、田中公治、塚本秀幸、山内一弘、山川勇人、山縣みさ、山根行弘

<ミャンマー> Aung Kyaw

<パキスタン> A. R. Siddigi(在日)

<ペルー> Olga Shimada Keiko

<シンガポール> Chia Guan Sey (謝元生)、Foo Choo Wei (在日)、Foo Yong Tse、顔尚強、 王発其、Tan Choon Shian、Wong Meng Quang

<台湾> Chen Ai Chi (陳艾圻)、張忠信(在日)、李淑維(維維)、林丕継、林登居・斎藤ヒサ子(在日)、Liu Li Mei、堤井信力(在日)、廖婉淑、陳俊銘(在日)

<タイ> 浅見博子(在タイ)、Bandihit Rojarayanont、Chamlong Srimuang、Chanintorn Mekaratana、Chovet Yimsirikul、Ditdi Chatputtongul、Gannigar Koontanakulvong(2)、Itti Rittaporn、神崎ソラダ(在日)、Kornkeo Praisontarangkul、Kraisorn Throngnymchai (在日)、Krisada Visavateeranon、Meena Thamchaipenet、Mongkol Pianapitham、Navarat Srisuponvanit、Ngampho Pattrawut、Niramai Thanatavee、小野崎忠士(在タイ)、Patamavadee(Bongsayan)Narushiso、Phiphat Chaichanavichakij、Pilaipan Mekaratana(2)、Pisan Thanatavee、Pholchai Limviphuvadh、Pornanong Niyomka H.、Prayad Kongkasawad、Prayoon Shiowatana、Sathida Mekaratana、Saowanee Patrakarn、新宅光(在タイ)、Sivaporn Sirilatthayakorn、Sucharit Koontanakulvong(2)、Suchittra Hunbuncharkit(2)、Supong Chayutsahakij、Suthee Chutchaiwett、Suvit Vibulsresth、泰日経済技術振興協会 [Technology Promotion Association (Thailand-Japan)]、泰日工業大学(Thai-Nichi Institute of Technology)、Tana Tangtrongsakdi、Vachiranee Limviphuvadh、Vachiraporn Limviphuvadh、Virat Thiravathanavong、Wannadee O'sorup、Wiwut Tanthapanichakoon、柳瀬修三(在タイ)、Yoshiko Limviphuvadh

<ベトナム> Dao Thi Minh (在日)、ドンズー日本語学校、Le Quynh Chi (在日)、Nguyen An Trung、Tai Anh Tien (在日)、To Buu Luong (在日)、Tran Thanh Viet (在日)



ABK 同窓生募金に関するメール

2012/8/28 Lim Chin Kok (マレーシア)

Foo 様 Ang 様 送金方法説明の送付が有難う ございます。振込みレシートを添付いたしますの でご確認お願いいたします。寄付者はにして下さ い。日本に留学時には ABK にいろいろお世話に なり、今でも心から感謝しています。宜しくお願 いいたします。

2012/8/8 FOO HEE HIANG (マレーシア)

Yong 様 こんばんは。今日お電話の連絡有難 うございます。今日確認にありました同窓生募 金の送金方法を書いた文書をご参考に送ります ので、宜しくご査収願います。Yong 様ご夫婦 の協力する気持を本当に有難く思います。これ からも Yong 様ご夫婦からご存知の同窓生へ本 件を教えて頂ければ、助かりますので、宜しく お願いします。序に最新のアジアの友も送りま すので、ゆっくりご覧になって下さい。また、 「ABK 同窓会 | Facebook に出来るだけ ABK に関することを掲載していますので、是非参加 Life is tough that time but it really a good して下さい。以上で、宜しくお願いします。

2012/8/29 蘇克敬(マレーシア)

町田先生 お久しぶりです、先生はお元気です か? 今回メールを出させて頂いたのは、募金 活動についてですが、スタート時点で、自分が 動けませんでしたが、本当に申し訳有りません でした。募金活動の最近の状況を知りたいです が、5千万の目標に4千数百万が達成された のを知りましたが、あと一歩の状態ですか?何 れにしても、微力ながら協力させて頂きます。 先生も働き過ぎないように、体に気を付けて下 さい。

2012/9/1 Foo Hee Hiang (マレーシア)

M さん 出張にご苦労様でした。水にやられまし たのか?多分疲れているでしょう?続けて 金力元を飲んで下さい。完全に直っていないと思 います。ABK への送金有難うございました。銀 行に手数料を取られることがもったいないので、 助かりました。ABK へ連絡しておきます。それ では、体を大事に

2012/9/3 Wong Kim Choy (マレーシア)

Ogiso-san Glad to hear that you still active in ABK. It has been more than 22 years I have not seen you in ABK. You are the person contributed a lot of energy to society and education to those students from ASIA (regardless they are poor or rich). When I was in ABK, most of students from Malaysia were not rich need to study while working as a part time at restaurant. experience and challenged. My name is Wong Kim Chov. ABK/1990 sotsugvosei. KEIO/KEIZAI gakubu. (Was Malaysian and converted to Singaporean few years ago) My Japanese (in written) is getting poor/ worse. Let me correspondent with you in English. Apology for not keep in touch with ABK so long. I really don't know ABK is calling ABK sotsugyosei for donation to build a new building, etc. When I saw this email, surprised. Yes it is my duty to return something (contribute) to ABK. I intend to donate Yen500,000(approx USD6500)

to ABK and will TT to ABK account of MIZUHO Bank, Hongo branch, Tokvo. Japan by tomorrow. Once transferred the amount, I will scan the copy of TT receipt t o you for record. I have a wish to ABK, let some of the poor students with good in academic, with a high ambition and work hard (an active in school, leadership) to study in ABK. The world is changing, economic power influence from USA. Europe and Japan are getting weak. Japan needs wake up call. ABK needs to play a role to encourage ASIA students to study in Japan to connect with them for future growing. Regards,

2012/9/4 Foo Hee Hiang (マレーシア)

小木曽理事長様が同窓生募金のために、持っているメールアドレスにあった同窓生にご協力の呼び掛けを行われています。嬉しいことに協力してくれる同窓生から反応が現れています。同窓生の皆様、協力の仕方はあらゆる形でもあり得るので、一斉にこの便りをご存知の同窓生に伝達しませんか?直接でも、間接でも、協力することになりますので、宜しくお願いします。(ABK同窓会 facebook)

2012/9/4 Wong Kim Choy (マレーシア)

Ogiso san, I have transferred total JPY500K to account of Asian Students Cultural association with receipt as attached file for your record. Acc to Bank, it takes about 3 working days for fund to reach at MIZUHO. I wish ABK all the best. With a completion schedule of new building

in 2013, ABK will be able to do more activities and to intake more Bright, High ambition and leadership students. Hope there is still have an old design structural (traditional structural) remained at ABK for our memory. Note: I have lost my contact with our ABK's classmate (1990?). I believe ABK keeps in touch some of them (or some of them actively keep contact with ABK). If ABK have such list/contact of ABK sei in 1990, appreciate you can provide Info/contact. If no record/info, it is fine. Thanks.

2012/9/4 Foo Hee Hiang (マレーシア)

シンガポールの KC Wong が自分の仲間を呼びかけてくれています。多分全名が Ong Chi Meng からまた協力してくれます。また、ずっと昔に FB に、ABK 奨学金の受領者の後輩が、ABK に協力するため、昔に頂いた奨学金を ABK に返したいと言った後輩も Wong さんの仲間で、今回で約束を実現するようです。今まで気を使って彼に連絡しなかったですが、今日 Wong さんの動きで彼自ら連絡が入ってきました。 Ong さんも奨学金の受領者で、二人とも多分それに相当した金額を協力してくれると思います。取り急ぎで。

2012/9/4 ABK 理事長小木曽友

Foo H.H. 様 元気の出るニュース、本当にありがとうございます。今日、KC Wong さんから、振込みがありました。ABK がこのような運動をやっていることをはじめて知ったとのことです。Foo さんの言われるように、まだまだ知っていれば協力してくださる方はたくさんおられますね。これからも一層張り切って、お願いのメールを送りつづけようと思います。マレーシア・シンガポール

だけでなく、他の国にも。私の手元には、日本語 コースの卒業生のメールアドレスがまだ、1500 名位(マレーシア以外)あります。運動の初期の 頃(2年前)、1回はメールを送りましたが、あ まり反応がありませんでした。今は、おかげさま で、ABK 同窓生募金のことは有名になっていま すので、もういちど私からのメールを受け取れば、 必ず、反応していただけると思います。これから もよろしくお願いします。

2012/9/4 Foo Hee Hiang (マレーシア)

Dear Mr.wong Thanks a lot. You can try to access (ABK 同 窓 会) Facebook page. this is a open Facebook, anyone can view the content. Actually this Facebook was Formed up by ABK 90' graduates, maybe vou can find your classmate From here. I got 250 Dousousei contact, but 90' graduates maybe very less, will Check and come back to you. Thank again.

2012/9/5 Wong Kim Choy (マレーシア)

Appreciated your work for ABK and also for ABK sotsugyousei. The list you have prepared slightly different. I was graduated in 1995 (retain a year in KEIO) When I saw the list, It only covered approx 15-20% of ABK sotugyousei/1990. Well it is not easy to connect all ABK sei partly due to their work/life is busy, went to different countries, Like Hong Kong, China, and other countries.

2012/9/7 Wong Kim Choy (マレーシア)

Ogiso san, Please refer to TTR receipt

attached file for your record. My friend/ Singapore Mr. Cheong Sai Keong donated Yen200k.

2012/9/7 ABK 理事長小木曽友

Tan Kok Thong 様 お久しぶりです。同窓生募 金にご寄付下さるとのこと、本当にありがとう ございます。日本語コース卒業生の皆様をはじ め、ABK 同窓生約 800 人の方々のご協力によ り、8月末現在、寄付金額は4300万円を超え ました。目標の5000万円までもう少しです。 2年前にはじめたこの募金は、これまでは大体 1990年度卒業生位までの方にお願いしてきま したが、今度、改めてそれ以後の卒業生の方々 にもお願いしようということになり、陳さんに もお願い申しあげた次第です。

『・・・同じく ABK 卒業生の後輩から聞いた話 です。ABK から募金のメールをいただき、寄付 しようとしたら、《1人1万円》と記載されてい るため、最低限が 1 万円と理解しているようで、 金額的に高いので、寄付できませんでした。実際 Mr. Foo, Thanks for your update. 本当に一万円が最低限なんでしょうか?誤解の ないよう、上記を教えていただければ幸いです。 後輩たちにも伝えておきます。』

> ABK 同窓会の寄付申込みページには次のよう に書かれています。(http://www.abk.or.jp/ abkd/fund/fund.html) 「寄付金額は一口 10,000円で何口でも。2口なら20000とご 記入ください。(一口未満でもお受けします。但 し、一口未満の時は 1000 円以上でお願いしま す)」金額は1000円以上ならいくらでも結構 です。どうか、後輩の方にその旨お伝えください。 そしてご協力に感謝しますとも。では、よろし くお願いいたします。

2012/9/10 Foo Hee Hiang (マレーシア)

募金の主、工藤英弥氏は三菱伸銅株式会社の方です。その前にご協力呼掛メールを発送した方々の中の一人です。工藤さんは 96 年から 10 年以上マレーシア工場に駐在して、お客さんでもあり、友達くらいの関係にもなっています。

2012/9/13 Foo Hee Hiang (マレーシア)

CHAI KOO PENG 様 お早うございます。ABK 小木曽理事長様からのメールを利用させて頂き ますが、宜しくご了承願いします。私は ABK か ら身元保証を受けて 1983 年に日本に留学をし たマレーシアの Foo と申します。留学の期間に ABK からいろいろな教育、協力及び助け等を頂 きました。また、こちらは Ng Kim Chai 大先輩、 Ang Khoon Chye 大先輩をはじめ、全員で 11 名の同窓生から作った「ABK 同窓生募金」マレー シア発起人グループであります。このメールの目 的は、貴メールアドレスの有効性を確認するため にありますが、序に「アジアの友」を送付させて 頂きたく思います。また、理事長様からのお願い にありました学校法人に切り替える計画に必要と した五千万円の運営資金のための「同窓生募金」 にご協力を頂きたく宜しくお願いします。締め切 りは来年3月までですが、必要とした運営資金は 現在において同窓生の皆様から 4,300 万円のご 協力を頂いています。目標値までに辿り着くのは 後約 700 万円になっています。これから日本へ 留学にいく予定の後輩達のためにも、今までご協 力を下さった ABK への「恩返」としても、是非 貴方からのご協力を期待しています。また、かな りの人数の同窓生との連絡が取れなく、募金の進 捗が行き詰まりになっていることが現状にありま す。ここに、貴方にもご存知の同窓生にこの情報 を伝えて頂けるよう、宜しくご協力も願いたく思 います。もし、Facebook の口座をお持ちならば、

「ABK 同窓会」 FBにもご参加するようにお願いします。このFBにて出来るだけ様々な情報を提供させて頂きたいと考えています。また、ご存知の友達もこのFBに誘って下さるように宜しくお願いします。ご面識もなく無理なお願いをして誠に失礼と思いながらこのメールを送らせて頂きますが、昔に親切にして下さった ABK が今「恩返」のチャンスを作って下さっていますので、是非これを利用して皆様の力で ABK へ恩を返しながら、将来の後輩達のためにももっと良い学校の作りにご協力を下さい。

2012/9/14 Wong Kim Choy (マレーシア)

-Noted with your message. I wish ABK success in future and to keep on intake bright/ clever, work hard, With high ambition students. Thanks.

-AA) Donation: For your info., acc to our classmate NG CHEE MENG(黄志鳴:マレ イシア) Donated RM10,000 To Foo Hee Hiang. After Graduated from Ritsumekan University, he returned to Malaysia Kedah supporting his family business until today. He lost touch with All ABK's friend (sometime I still contact him by phone) because he does not know how to use computer and IPHONE. (Very surprise he prefers "Inaka" life not modern life). BB) My Japanese language I can speak and read but cannot write well in Japanese because no practice in Writing. My wife is Taiwanese Graduated from Utsunomiya University. We notice that Our Japanese language in writing is getting poor/weaken need to be practiced more. Regards

2012/9/14 Foo Hee Hiang (マレーシア)

Dear Mr. Wong We confirmed received RM10,000 from Mr.Ng to Mr. Ang Khoon Chye's Account. And will convert to Japanese Yen and forward to ABK on cash by end of this month. And for your information, another one of your classmate. Mr. Chan Huan Pang will also donate to ABK another RM10.000 after Mr. Ng called him. Actually Mr. Chan already donated last year. Thanks again to all of yours kind generous to support ABK. But we still have another 600 Mil Yen + to go. We will try our best to hit the goal before April 2013.

2012/9/14 Foo Hee Hiang (マレーシア)

- アジアの友の送付、有難うございます。また、 皆さんに転送しておきます。
- 皆様 こんばんは。アジアの友、2012年8 ~9月分を送ります。

Mr.Foo はじめまして、1993年度の卒業生 Chai と申します。本件、了解致しました。本 来は2010年に日本へ行くたび、寄付するつ もりでしたが… 来调中に、クレジットカード 決済にてさせて頂きます。今後も宜しくお願い いたします。

cc: Liang Teck Meng YP 様 ご無沙汰です。 大変忙しいと思いますが、本件、ご協力宜しく お願いいたします。 (Chai 様ご協力頂き有難う ございます。宜しくお願いします。また、YB 様は3月26日に、JBにて開催した集会にご 出席され、ABK 同窓生募金にも多いご協力を 頂いていました。以上、宜しくお願いします。 By Foo HH)

2012/9/27 日本へ出張された Mr.Tan Chee Teong がマレーシアからの ABK 同窓生募金を 届けて下さいました。(ありがとうございます!!)



2012/9/28 Foo Hee Hiang (マレーシア)

ABK 同窓生の皆様へ 理事長から、メールに よる「ABK 同窓生募金」の呼掛は、一部の同 窓生からご協力を頂きました。昨日に、マレー シアから東京へ出張に行った同窓生に寄付金を 理事長に届けてもらいました。これで募金は **2012/9/17 Chai Koo Peng (マレーシア)** 4,500 万円を乗り越えました、皆様のご協力 有難うございます。1989年入学の同窓生ら が、留学時期に ABK から奨学金を受領し、今 日今自分の姿は ABK のお陰様だと思って、当 時に自分達を助けて下さった ABK にというか、 これからの後輩達のためというか、まず受領し た奨学金またはそれの倍数で寄付してくれまし た。勿論、これらの同窓生の中には、すごく余 裕があって簡単にご協力をもらったわけではな く、節約しながら計画的に貯金し、頑張ってく れました。それは、金額の問題ではなく、気持 と意識だと思います。有難うございました。残 り約500万円です。同窓生の皆様、どうか宜 しくお願います。(同窓会 Facebook より)

2012/9/27 第6回四木会開催 日程:27 Sept 木曜日 時間:7:00pm

場所: The Bierhaus.(Sentosa) (阿坤鱼丸正对面)ーマレーシア・ジョホールバルー









2012/9/12 馬杉栄一

拝啓 お世話になりました田井重治様の偲ぶ会のお誘いをいただきましたが、札幌での所用のため出席できませんことお詫び申し上げます。なお先日昭和40年代の寮友の皆様20名ほどで、偲ぶ会を催させていただきました。これには出席できましたので、御生前のお話しを皆でし、田井様の生前の御指導に感謝を申し上げました。当日は札幌の地より田井様の御冥福をお祈りいたす所存です。合掌

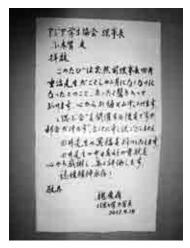
2012/9/14 川上剛(在スイス)

ご連絡ありがとうございます。現在の中国や韓国との関係を田井さんがご存命であったらきっととても心を痛められただろうと気になります。

2012/9/16 魏庆鼎(中国)

I surprised by your email that notified that Mr. Tai died on February this year and a memorial meeting will be held on Oct., I am sorry not to be able to attend this meeting but will recall him in my brain. I respect 田井重治先生 very much. Please

pass on the attached letter to Mr. 小木曾 友. Best regards,



2012/9/22 Heng Foo Chong (在ドイツ)

Thanks. I wish to come to the memorial meeting for Tai san, but it seems a bit difficult. Please do convey my sincere feelings to Tai san family and friends, and all of you in Asia Bunka Kaikan. Best regards

2012/9/26 小倉尚子(在仏)

田井さんの会のご案内をありがとうございま

す。なることなら馳せ参ずるところですが、い かんせん老体には遠すぎます。遥かより田井さ んらしい、満 里子さんのご満足をいただけるよ うな会をいのっております。

2012/10/7 イッティ・リッターポン(タイ) ご連絡、いたただき、感謝しております。個人的 にも長くいろいろとお世話になった田井さんをし のぶ会にできれば参加したい気持ちでいっぱいで すが、ご家族のご意向を尊重して、別途の機会に

2012/10/8 星野陽子(日本、元 AOTS 職員、 ABK 日本語講師)

タイからお参りに行きたいと思います。

ご連絡いただきましてありがとうございます。 ABK で初めてお会いした時、あなたは奄美大島 の人とおっしゃった時の田井先生のお顔を思い 出します。あっという間に時か過ぎて、お亡く なりになったのが夢の中の出来事のように思わ れます。

2012/10/9 王暁東(中国、在日)

に会いたかった。。。。今回本当に失礼致しました。 また、近いうちに皆様と会いたいです。

2012/10/9 Patamavadee(Bongsayan) Narushiso (タイ)

田井さんの偲ぶ会に参加できず申し訳ございま せん。田井さんと親しい同窓生たちとタイのお 寺に行き冥福を祈りたいと思います。ご家族の 皆様によろしくお伝えください。

2012/10/9 Sivaporn Sirilatthayakorn (タイ)

TSUGODE SHINOBUKAI NI YUKEMASEN.

DOKA YOROSHIKU ONEGAISHIMASU. ATO DE OHAKA O TAZUNETAIDESU.

2012/10/10 Suvit Vibulsresth (タイ)

E-mail arigatoo gozaimasu. Kono 2-3 ka getsu watashi wa Dr. Pradisth Cheosakul, former Secretary-General, NRCT no kasoo ni kubaru shinobu no hon no iunbi no tame ni taihen isogashikatta desu. 10gatsu nanoka (nichiyobi) Princess Sirindhorn ga omie ni irasshite buji ni owarimashita. Dr. Pradisth wa kvonen 98 sai de nakunarimashita. Kono kata wa watashi no oniin desu.Hontoo ni subarashii kata desu.

Sate, Tai san wo shinobukai wa tai hen zannen desu. Chodo kongetsu no sue ni Nihon ni iku yotei ga arimasu. chotto surechigai desu ne. Tai san no kooseki wa subarashikatta desu. Hozumi sensei no seishin wo yoku uketsunaide kudasaimashita. Wareware mo Tai san no いつもおせわになっています。最後に田井先生 ato wo ayumimashoo. Minasama ni mo yoroshiku onegaimasu.

2012/10/20 鶴尾能子(元 AOTS 職員)

「田井さんを偲ぶ会」は、遠来のスポンさん、二 ラモンさん。ホエさんまで参加され。ABK はも ちろん、AOTS、スリーエーの関係も参加でき、 これも皆、穂積先生と田井さん、現役の小木曽さ んはじめ ABK 皆様のおかげとしみじみ思いまし た。

2012/10/21 加藤哲夫・淑子(日本、元 AOTS/ABK 職員)

田井さんを忍ぶ会発起人の皆様。先日はお疲

れ様でございました。そして大変お世話になりましてありがとうございました。 皆様方のお陰でとても良い会だったと思います。田井さんもきっと満足なさって見守ってくださっていることと思います。あの頃の充実した日々

が思い出されました。ありがとうございました。 何か私たちにお手伝いできますことがありましたらいつでもおっしゃってくださいませ。喜んでお手伝いさせていただきます。感謝、感謝です。

ご無館



2012/10/18 マレーシアの Gery Tan さん来館



2012/10/25 マレーシアの林福來 ご夫妻来館





2012/10/23 マレーシアの Foo Hee Hian さん来館



2012/11/8 インドの Sam De さん来館

2012/11/9 ブラジルの Ohnishi Hiromu (大西博巳) さん、ABK 同 窓生募金で来館。背景は建設の進む 新日本語学校校舎

ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純 民間運営の公益法人ですので、財源に限り があり、皆様方からお送りいただく会費、 寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財 源となっています。何卒ご理解、ご協力を お願い致します。

協会のあらまし

名 称:財団法人アジア学生文化協会 ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOSIATION (ASCA)

所在地:東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者:理事長 小木曽 友

設 立:1957年(昭和32年)9月18日 故穂積五一氏創設

目 的:日本とアジア諸国の青年学生が共同生 活を通じて、人間的和合と学術、文化 および経済の交流をはかることによ り、アジアの親善と世界の平和に貢献 することを目的とする。

◇主な事業◇

- (1) 留学生宿舎の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営(進学希望者向 けの日本語を中心とする教育)
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社) 日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の 会との連携・協力

◇会費(年額)

正会員 1口 1万円 10 5万円 替助会員 特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布され ます。また、広報誌購入だけを希望される方に は、購読料年間3千円(学生2千円)でお送り しています。

本誌で広告してみませんか。

団体・企業を問わず、編集部へご相談 ください。

2月の田井重治ABK前理事長の通夜の席で、この秋に「田井さんを偲ぶ会」を 持とうという話が持ち上がり、発起人を立候補する手も上がりました。そんな わけで、この10月14日、神田・如水会館で「偲ぶ会」が実現しました。田井さ んは、至軒寮、新星学寮、ABKと穂積五一先生と長年ともにされたかたです。 従って、「偲ぶ会」には至軒寮の寮友、丸谷金保さん(93才、元北海道池田町 町長、元社会党参議院議員)が北海道から、そして富永昭太郎さんとお二人 が、新星学寮の寮友は80代から20代まで、全国からたくさんの方が参加されま した。また、在日のABK元在館留学生、日本人学生、それに元・現職員、 AOTS (現HIDA) の元・現職員、スリーエー・ネットワークの元・現職員の 他田井さんゆかりの関係者も参加され、さながら同窓会のような会にあいなり ました。また田井さんとは特にご縁の深いベトナムのホエさんが、そしてタイ からはスポンご夫妻が参加され、和気あいあいと、リラックスした、いかにも 田井さんのお人柄そのものの会となったように思えます。田井さん!長い間お 世話になりました!そしてありがとうございました! (F)

3年振りで元フロア生のベトナムのチーさん (東大・建築 (都市開発) Phd.取 得。国立ハノイ土木大学講師)が学会出席のため来日した。来日にあたり、 ABKの同窓仲間への連絡も、歓迎会の詳細の詰めも全てfacebookで行われた。 ABKで鍋料理での歓迎会がいつの間にか近隣の"Dennys"での歓迎会に。集まっ たのは8名、筆者を除き全て大学院に通う6カ国(ベトナム、台湾、韓国、ミャ ンマー、日本、ペルー)の学生だ。とりとめのない話で、4時間以上も、前教授 との打合せで一番遅く到着したチーさんも2時間以上、かつての仲間と寛いだ楽 しい時間を過ごし、近々のベトナムでの再会を約束し、重い尻を上げ別れを告 げた。とても、とてもよい集まりでした。将来が楽しみだ~~~!!! (F)

アジアの友 2012年10-11月号

2012年11月20日発行(通刊第499号)

年間購読(送料共)3.000円(学生2.000円) 1部500円(税込)

発 行 人 小 木 曽 ォ アジアの友編集部 編 集

発 行 所 財団法人 アジア学生文化協会

東京都文京区本駒込2 - 12 - 13 (☎113-8642)

電話番号 : 03 - 3946 - 4121 ファクシミリ: 03 - 3946 - 7599 振替口座 : 00150 - 0 - 56754 E-mail: tomo@abk.or.jp

ホームページ: (http://www.abk.or.jp/)

published ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION

(ASIA BUNKA KAIKAN)

2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN

3+81-3-3946-4121 **4**+81-3-3946-7599

Email: tomo@abk.or.jp

Home Page: http://www.abk.or.jp/

「アジアの友」の購読会員(年3,000円・学生2,000)にご入会下さい。振替用紙又は電話等にて。

「ABK 同窓生募金」へのご協力のお願い

(財) アジア学生文化協会では、現在、下記の通り、「ABK 同窓生募金」を行っています。おかげさまで、沢山の同窓生、関係者のご協力を賜り 2012 年 3 月末までに約 4,000 万円の募金を集めることができました。目標の 5,000 万円まであと一息です。募金期間を一年延長し、今後は、より多くの方々へ募金に関する情報を伝え、まだご協力をいただいていない沢山の同窓生、関係者にご賛同とご支援をいただき実現してゆく所存です。よろしくお願いたします。なお、この度の「ABK 同窓生募金」への寄付者のお名前は、金額の多寡にかかわらず新校舎に掲げる銘板に刻印し、長く保存させていただく予定です。世界的な不況の折、真に心苦しい限りですが、何卒、ご理解とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

財団法人アジア学生文化協会(ASCA) 理事長 小木曽 友

募金内容

1. 名 称 | 同窓生募金

2. 目標額 50,000,000円(伍阡萬円也)

3. 寄付金額 一口 10,000円 <一口未満でもお受けします。但し、一口未満の時は 1000円 以上でお願いします>

4. 使 途 ABKが設立する学校法人の「運営資金」に当てる(注)

(注)学校設立には、校舎建設資金(約5億円)のほかに、教育の健全性を保証するために「運営資金」(約5,000万円)を所有することが必要です。募金はそのためのものとします。

5. 募金対象

ABK と兄弟寮に居住したことのある各国(在日を含む)留学生・技術研修生・日本人学生の OB/OG(約 1,000 人)、ABK 日本語コースの卒業生(約 4,000 人)、及び ASCA の日本人職員・会員等(約 1,000 人)、並びに本募金趣旨に賛同されるすべての皆様

6. 期 間

2012年4月1日から1年間

7. 送金方法

次の 1)、2)、3) のいずれかの方法で、ご送金下さい。

- 1) クレジットカード決済による送金 (下記ウェブサイトで手続きできます) 寄付のお申し込み http://www.abk.or.jp/abkd/fund/fund.html *セキュリティ上の必要から、1回の送金は上限300.000円(参拾万円也)でお願いします。
- 2) 銀行振込みによる送金 (下記銀行口座にお振り込み下さい)

銀 行 名 みずほ銀行 本郷支店

口座番号 普通預金 NO.2789045

口座名義 財団法人 アジア学生文化協会

住 所 東京都文京区本駒込 2-12-13 ☎ 03-3946-4121

3) 郵便振替による送金

郵便振替口座 00150-0-56754

加入者名 財団法人 アジア学生文化協会

*振替用紙は『アジアの友』に挟み込まれています

お問合せ先:(財)アジア学生文化協会 50周年記念事業委員会事務局

〒113-8642 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館

Tel.+81-3-3946-4121 Fax.+81-3-3946-7566 E-mail: asca50com@abk.or.ip